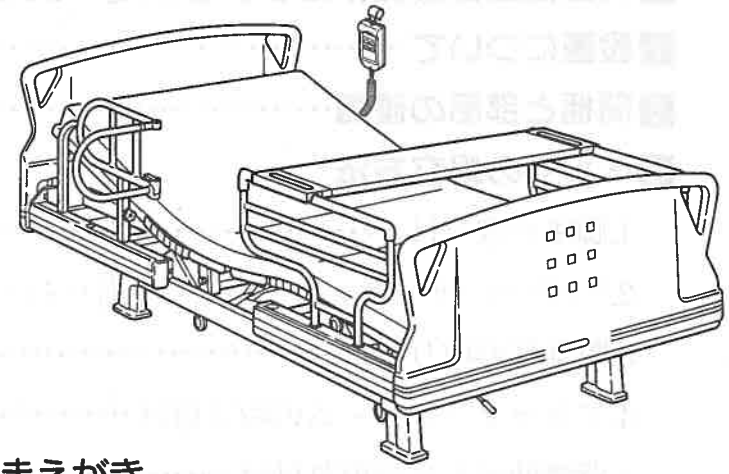
PARAMOUNT BED

取扱説明書

7K00085800A4

KQ-602,603,612,613,622,623 キューマアウラベッド



まえがき

このたびは、**キューマアウラベッド**をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立・分解の方法や使用方法などを記載しています。

- **ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社まで、お問い合わせください。

パラマウントベッド株式会社

もくじ／使用目的

ページ

1 主要部分のなまえと説明…… 3

2 安全に使用するための注意事項…… 4～8

3 仕様…… 9

4 動作の説明…… 10

5 手元スイッチの使いかた…… 11～12

6 背膝連動切換操作について(KQ－602,612,622のみ) …… 13

7 設置について…… 14

8 開梱と部品の確認…… 15

9 ベッドの組立方法

1.脚座の取り付け…… 16

2.「ハイトスペーサー・キャスター・キャスター付ハイトスペーサー」(別売)の取り付け… 17

3.駆動部の取り付け …… 18～19

4.アクセサリフレームの取り付け…… 20

5.背湾曲ボトムの取り付け…… 21

6.背ボトムの取り付け…… 22

7.腰ボトムの取り付け…… 23

8.足ボトムセットの取り付け…… 24

9.マットレス止めの取り付け…… 25

10.ヘッドボード・フットボードの取り付け…… 26

10 組み立て後の点検…… 27

11 マットレス使用方法とご注意…… 28

12 オプションの取り付けとご注意

1.介助バー・ベッドサイドレールについて…… 29

2.オーバーテーブル・キャスター・ハイトスペーサーについて…… 30

13 ベッドの使用方法…… 31

14 手動による背下げ操作（停電・故障時などの対応）

1.背下げのしかた…… 32

2.もどしかた …… 33

ページ

15日常のお手入れ…… 34

16故障かな？と思ったら…… 35

17長期保管と移動（移設）について…… 36

18ベッドの分解方法

1.オプション・寝具の取り外し …… 37

2.手元スイッチの操作…… 37

3.ヘッドボード・フットボードの取り外し…… 38

4.マットレス止めの取り外し …… 38

5.足ボトムセットの取り外し …… 39

6.腰ボトムの取り外し…… 39

7.背ボトムの取り外し…… 40

8.背湾曲ボトムの取り外し…… 41

9.アクセサリフレームの取り外し…… 42

10.駆動部の取り外し…… 43

11.付属部品と分解したユニットの保管…… 44

19アフターサービスについて…… 45

使用目的

■キューマアウラベッドはご家庭での介護を行なうことを目的として作られたベッドです。
ご使用上、次のような特長があります。

1.ボタン操作でベッドポジションを自在にコントロール。

●ボタンを押すだけでお好みの体位がとれます。

●介護する方の負担を軽減します。

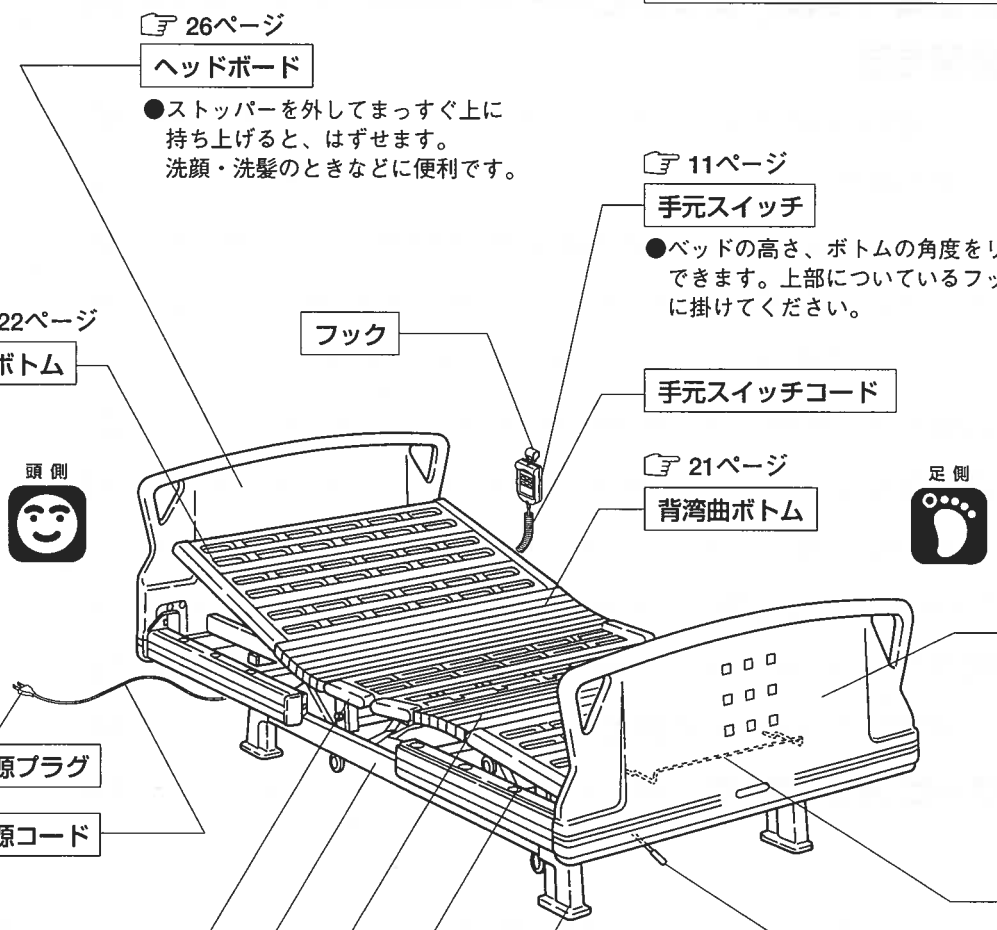
2.静粛性にすぐれたベッドです。

●専用に開発されたリニアアクチュエータを採用しています。

3.居住性を重視したケアベッドです。

●サイドレール、オーバーテーブルをご使用になると、ベッド上での食事・読書等が可能です。

1 主要部分のなまえと説明



☞ このマークの数字は、説明のあるページを示しています。

☞ 26ページ
ヘッドボード
●ストッパーを外してまっすぐ上に持ち上げると、はずせます。洗顔・洗髪のときなどに便利です。

☞ 11ページ
手元スイッチ
●ベッドの高さ、ボトムの角度をリモートコントロールできます。上部についているフックで使いやすい場所に掛けてください。

☞ 22ページ
背ボトム

フック

手元スイッチコード

☞ 21ページ
背湾曲ボトム

☞ 26ページ
フットボード
●ストッパーを外してまっすぐ上に持ち上げると、はずせます。足の処置のときなどに便利です。

電源プラグ

電源コード

☞ 25ページ
マットレス止め

☞ 23ページ
腰ボトム

☞ 13ページ
切換レバー
(KQ-602,612,622のみ)

☞ 16ページ
脚　座

☞ 16~17ページ
ベースフレーム

☞ 24ページ
足ボトムセット

☞ 29~30ページ
オプション取付穴（片側6ヶ所）
●ベッドサイドレール、介助バーなどを取り付けられます。

2 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の二つに区分しています。**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

〔絵表示の例〕

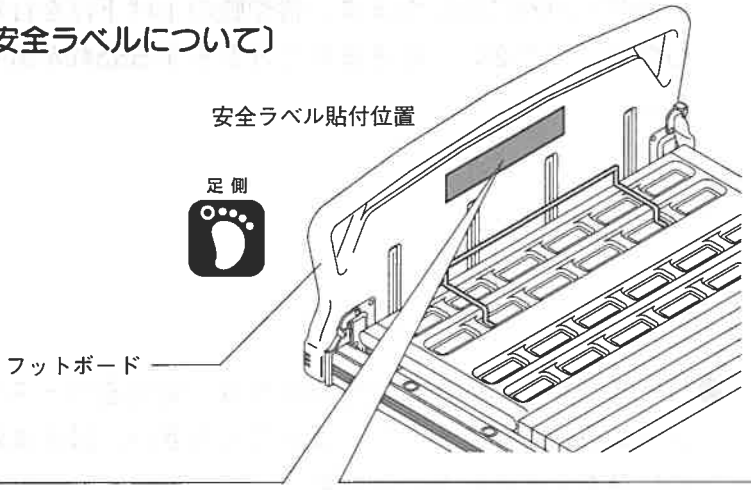
△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は「感電注意」）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や回りに具体的な禁止内容（左図の場合は「分解禁止」）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は使用者の行為の強制「電源プラグを抜く」）が描かれています。

※取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

〔安全ラベルについて〕



●**注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてフットボードの内側に貼ってあります。**はがしたり傷つけたりしないでください。

●安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合には販売店から新しい安全ラベルを取り寄せ、貼り直してください。

ベッドをお使いになる前に必ず取扱説明書をお読みください。
安全のため注意事項を理解してお使いください。

パラマウントベッド株式会社

3K00758600A1

⚠ 警告

■けがの恐れあり

頭・腕や足をサイドレールから出したまま背上げ・膝上げ操作をしないでください。

はさまれると、けがをすることがあります。

■けがの恐れあり

ベッドの下にもぐり込んだり、ベッド内に頭・腕や足を入れないでください。可動部ではさまれると、けがをすることがあります。

⚠ 注意

■故障の恐れあり

モーターや手元スイッチに水などをこぼさないでください。故障の原因になります。

電動ベッドの場合

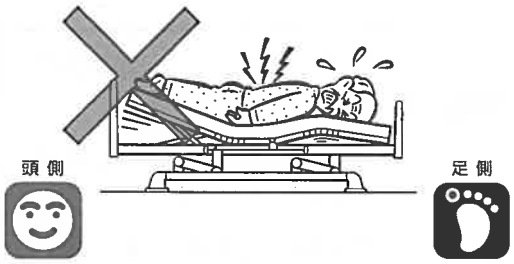
⚠ 警告（けいこく）

■誤操作を防止するためプラグを抜いてください

プラグを抜く

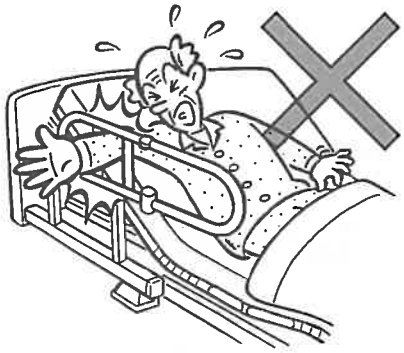
●幼児や操作が理解できないと思われる方（痴呆症の方など）が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合（介護する方の外出時など）には、電源プラグをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。

■うつ伏せで背上げをしないでください



●うつ伏せに寝た状態での背上げは関節を逆に曲げることになり、けがをする恐れがあります。絶対に行なわないでください。

■腕ばさみ注意



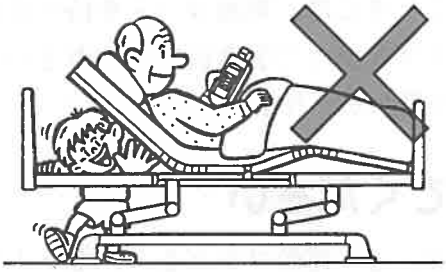
●頭・腕や足を介助バーやベッドサイドレール（29ページ参照）の外に出したまま、背や膝の上げ下げを行なわないでください。はさまれてけがをする恐れがあります。

■足先に注意

●ベースフレームの上に足をかけたり、足先をベースフレーム下につっこんだりしないでください。はさまれてけがをする恐れがあります。

⚠警告

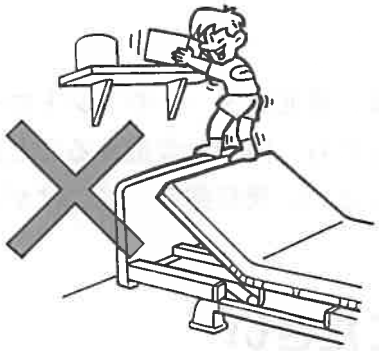
■ベッド内にもぐり込まないでください



●ベッドの下に潜り込んだり、ベッド内に頭・腕や足などを入れないでください。ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやベッドサイドレールとの間に頭・腕や足をはさんでけがをする恐れがあります。

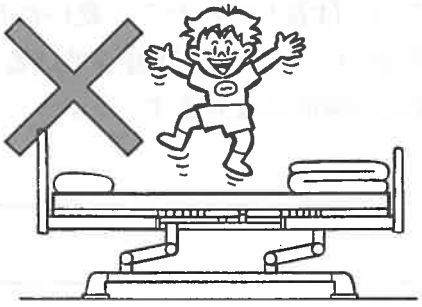
●ベッドポジション操作時は、ベッドの下やうしろに障害物がないことを確認のうえ、操作してください。

■踏み台がわりにしないでください



●踏み台がわりにベッドの上に立ったり、足をかけて立ち上がったりしないでください。ベッドから落下、転倒してけがをする恐れがあります。

■ベッドの上で飛び跳ねないでください。



●ベッドの上で飛び跳ねないでください。特にお子様にはご注意ください。故障やけがの原因となります。

■電動操作中は手や足を入れないでください

●電動操作中は、ベッドフレーム、背ボトムの下に手や足を入れないでください。下がってきたベッドフレーム、背ボトムで手や足をはさんでけがをする恐れがあります。

2 安全に使用するための注意事項

⚠ 警告

■抜くときにはプラグを持ってください

感電注意

●電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。ショートして感電の恐れがあります。

■プラグを濡れた手で抜き差ししないでください

感電注意

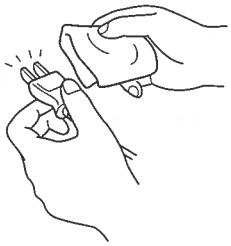
●お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。ショートして感電の恐れがあります。

■改造はしないでください

分解不可

●修理技術者以外の方は、手元スイッチやコントロールボックスなどを分解したり、修理・改造することは絶対に行なわないでください。異常動作して、けがをする恐れがあります。

■プラグの刃にホコリを付着させないでください



●電源プラグの刃や刃の取付面にホコリが付着していないか確認してください。付着していたら、乾いた布でよくふきとってください。ホコリが付着していると、感電・ショート・発火の原因になります。

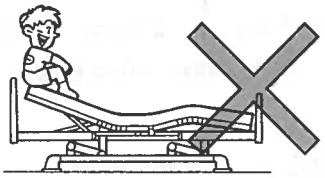
⚠ 注意

■１人用の設計です

●このベッドは1人用の設計になっています。2人以上ではご使用になれません。また、ウォーターマットレスのご使用はベッドフレームの変形、破損の原因となりますのでご使用にならないでください。

⚠注意

■上がっているボトムにのらないでください



●上がっている背ボトムや腰ボトムの上に腰掛けないでください。ボトムの支持部に大きな力がかかり、支持部やボトムの変形、破損の原因となります。

■長期間使わないときはプラグを抜いてください

プラグを抜く

●長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■水などをこぼさないでください

感電注意

●アクチュエータや手元スイッチに、水やジュース、味噌汁などをこぼさないでください。液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■コードを傷つけないでください

感電注意

●手元スイッチを落としたり、手元スイッチコードや電源コードを強く引っ張ったり、ベッドを操作するとき、はさんだりしないでください。また、脚座やキャスターで踏まないでください。ショートして感電の恐れがあります。

■治療中の方は医師に相談をしてください

●現在治療中の方は、ベッドの背上げや膝上げ操作によって症状を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

■他社製品とは組合わせないでください

●ベッドに直接取り付けて使用するサイドレール、介助バー、マットレスは必ず弊社の適合品をお使いください。他社製品と組合わせるとベッドに負担をかけ、故障の原因となる事があります。

3 仕　様

	型番	KQ-602	KQ-603	KQ-612	KQ-613	KQ-622	KQ-623
ベッド本体	寸法	全幅96X全長206X高さ30～60cm（ゆかからボトム面まで）		全幅95X全長202X高さ30～60cm（ゆかからボトム面まで）		全幅101.8X全長202X高さ30～60cm（ゆかからボトム面まで）	
	総重量	約83.5kg	約85kg	約86kg	約87.5kg	約89kg	約90.5kg
	材質 ボード	PP（ポリプロピレン）		回縁：天然木／鏡板：化粧板張り			
	材質 駆動部	スチール製……電着、粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
	材質 アクセサリフレーム						
	材質 ボトム						
	材質 ベースフレーム	スチール製……メラミン塗装仕上げ					
	電源コード長さ	有効長さ　約2m					

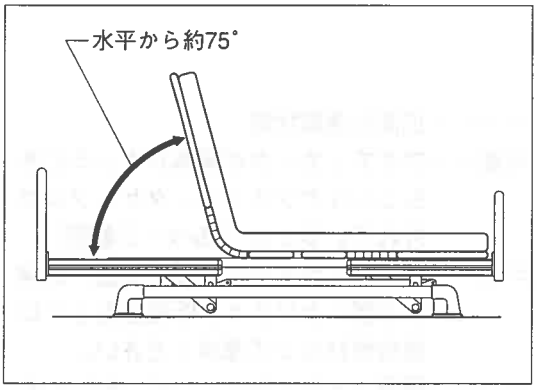
背上げ	傾斜角度	0～約75°（無段階）
	背上げ用アクチュエータ 電源	AC100V、50/60Hz
	背上げ用アクチュエータ 消費電力	約140W
	背上げ用アクチュエータ 昇降時間	約33秒
	背上げ用アクチュエータ 連続使用時間	約5分
	背上げ用アクチュエータ モーター形式	DCモーター

膝上げ	傾斜角度	0～約20°（背膝連動時）	0～約30°（無段階）	0～約20°（背膝連動時）	0～約30°（無段階）	0～約20°（背膝連動時）	0～約30°（無段階）
	膝上げ用アクチュエータ 電源	—	AC100V、50/60Hz	—	AC100V、50/60Hz	—	AC100V、50/60Hz
	膝上げ用アクチュエータ 消費電力	—	約140W	—	約140W	—	約140W
	膝上げ用アクチュエータ 昇降時間	—	約12秒	—	約12秒	—	約12秒
	膝上げ用アクチュエータ 連続使用時間	—	約5分	—	約5分	—	約5分
	膝上げ用アクチュエータ モーター形式	—	DCモーター	—	DCモーター	—	DCモーター

高さ調節	昇降距離	約30～60cm（ゆかからボトム面までの高さ）
	ハイロー用アクチュエータ 電源	AC100V、50/60Hz
	ハイロー用アクチュエータ 消費電力	約140W
	ハイロー用アクチュエータ 昇降時間	約30秒
	ハイロー用アクチュエータ 連続使用時間	約5分
	ハイロー用アクチュエータ モーター形式	DCモーター

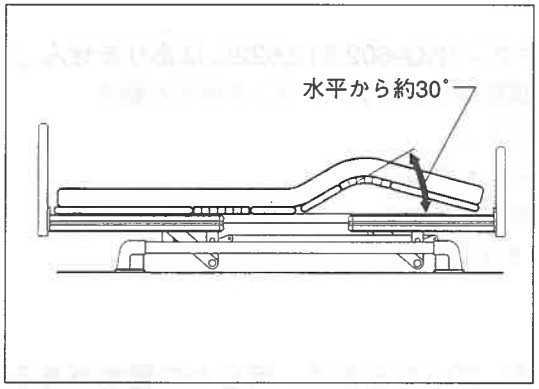
■ベッドの背ボトム、足ボトムセットの角度やベッド全体の高さを、電動で無段階に調節できます。
手元スイッチのボタンを押すと動き、はなすとその位置で止まります。必要な位置まで動かして、ベッドをお使いください。

背 上 げ



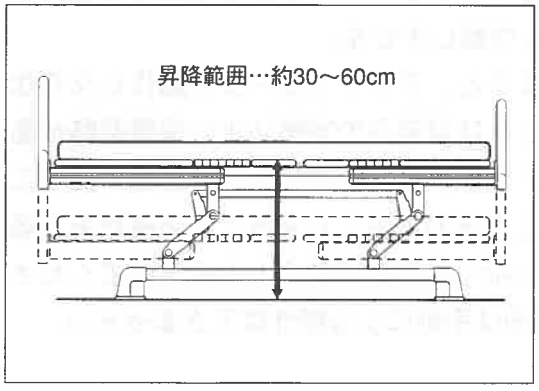
●背ボトムの角度を調節できます。
ベッドの背もたれ部分が、水平から約75°まで電動操作で調節できます。
●背と膝が連動します。(KQ-602,612,622のみ)
KQ-602,612,622は、切換レバー操作により、背と連動して膝部が約20°まで上がります。
●背膝連動はKQ-602,612,622のみの機能です。KQ-603,613,623ではできません。

膝 上 げ



●足ボトムセットの膝部角度を調節できます。
足ボトムセットの膝部が、水平から約30°まで電動操作で調節できます。
●膝部のみの調節はKQ-603,613,623のみの機能です。KQ-602,612,622ではできません。

高 さ 調 節



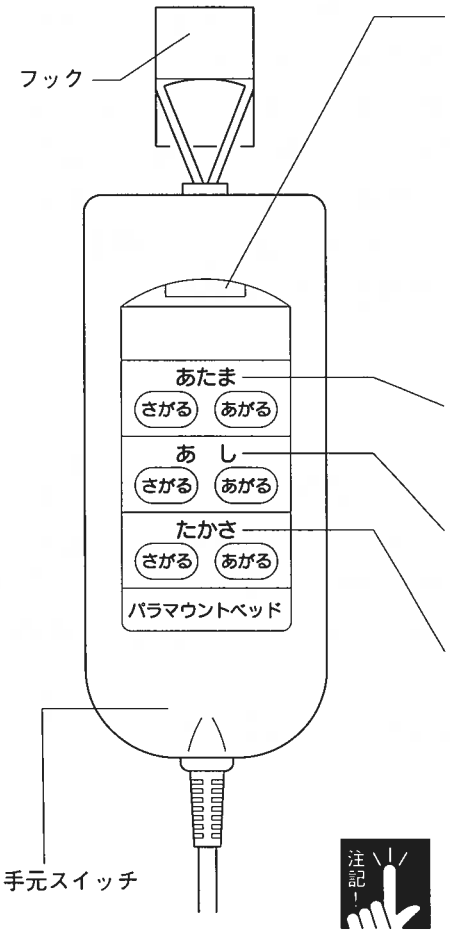
●ベッドの高さを調節できます。
ゆかからボトム面までの高さを、約30cmから約60cmまで電動操作で調節できます。

5 手元スイッチのつかいかた

⚠ 警告

●ベッドを一定期間使用しない場合、幼児や操作が理解できないと思われる方（痴呆症の方など）が手元スイッチに触れる可能性がある場合には、こまめに電源プラグを抜いて、誤操作による事故を未然に防いでください。

■電源プラグをコンセントに差し込んでください。



（KQ-603,613,623用）

通電表示ランプ：

●点灯……正常な通電状態

●ボタンを押すと点滅……アクチュエータが過熱しているときもしくはアクチュエータケーブルが外れているとき（35ページ参照）

●何もしなくても点滅……サービスガイドに基づく調整、点検が必要になります。販売店もしくは直接弊社までご連絡ください。

●点灯せず……電源コードが外れている、もしくは停電の場合（35ページ参照）

あたま：背の上げ下げボタン

●背ボトムの角度調節ができます。ボタンを押すと動き、はなすと止まります。

あ　し：膝の上げ下げボタン（KQ-602,612,622にはありません。）

●膝ボトムの角度調節ができます。ボタンを押すと動き、はなすと止まります。

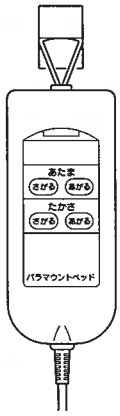
たかさ：ベッドの上げ下げボタン

●ベッドの高さ調節ができます。ボタンを押すと動き、はなすと止まります。

●通電表示ランプが点滅しているときは、何らかの異常があるときです。27ページを参考に点検を行ってください。

●2つ以上のボタンを同時に押しても、安全のため誤操作とみなし動きません。障害物があるときなど異常検出時にもスイッチボタンを押しても作動しません。

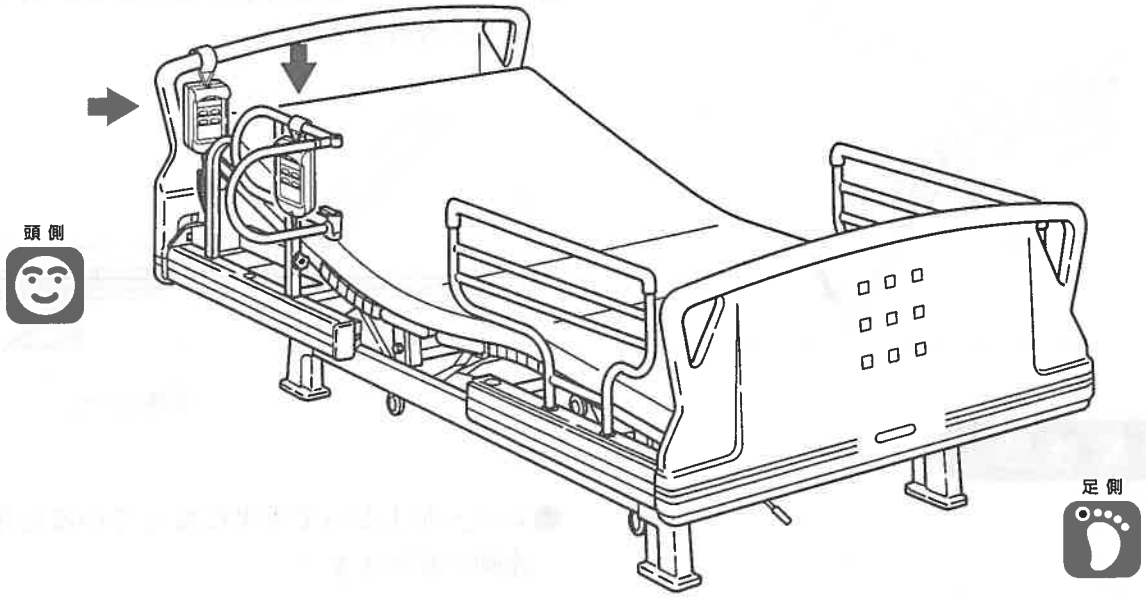
●長時間連続で使用しますと、アクチュエータが動作しなくなることがあります。これは電装品の過熱防止の保護回路が働いたためで故障ではありません。約20分後には正常に戻ります。この間に上がったままの背ボトムを下げる必要がある場合には32～33ページに従って手動で背ボトムを下げてください。（膝上げ・高さ調節は手動による操作はできません。）



（KQ-602,612,622用）

■手元スイッチを掛ける場所

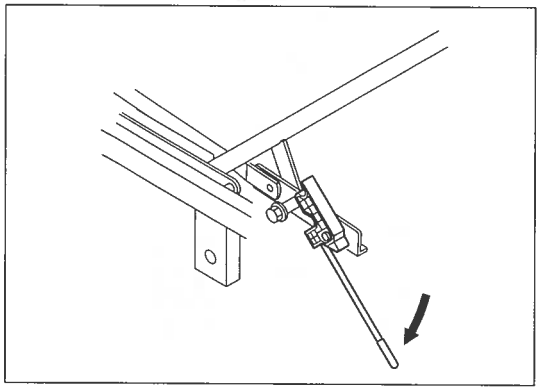
●手元スイッチを使用しないときは放置せず、図の位置を参考に掛けてください。本人に動作をさせないときには、届かない位置にコード類をはさまないように置いてください。



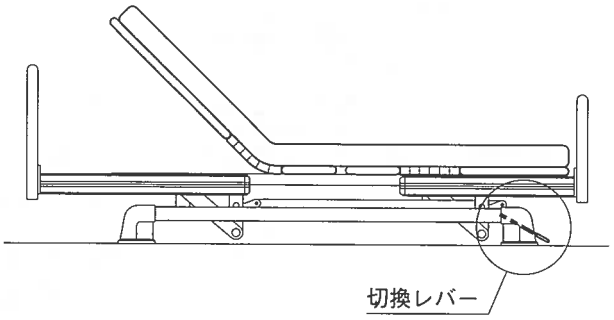
6 背膝連動切換操作について(KQ-602,612,622のみ)

■KQ-602,612,622は切換レバー操作で、背上げのみと背膝連動の2通りの使い方ができます。

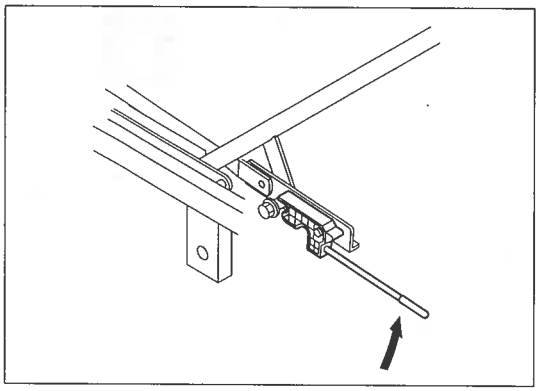
解除状態



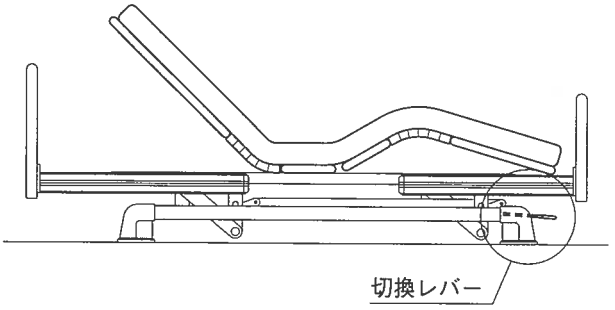
●レバーを下げると連動が解除され、背上げのみとなります。



連動状態



●レバーが上がって水平になっているときが連動になります。



⚠注意

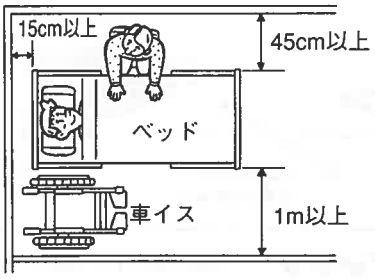
●切換操作は必ずボトム面が水平の状態で行なってください。
●切換操作は手で行なってください。

7 設置について

■ベッドを設置するにあたって下記の条件を考慮してください。

●一旦組み立ててしまいますと部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

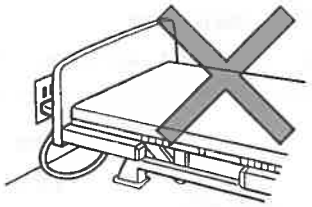
❶



❶ベッドの周辺のスペースを確保してください。ベッドで療養する方が、ベッドから起き上がる場合にベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車イスをご使用の場合はベッドのどちら側で使用するかによってそのスペースを確保してください。介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（例えばシーツ交換だけか、おむつ交換、着替え、洗髪、歯磨き、食事の介助等が必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。

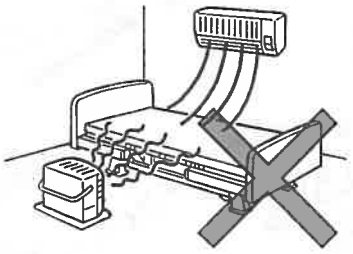
❷ゆかを水平にしてください。

❹



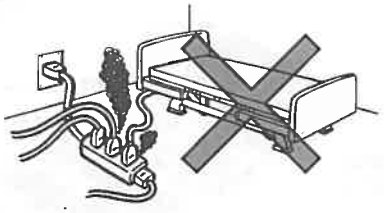
❸ベッドの重量は約85kgです。寝具およびオプション（付属品）にベッドで療養する方の体重を加えた総重量が、使用時の静荷重となります。この荷重に十分耐えられるゆかの強度を確保してください。

❺



❹電源プラグの抜き差しができなくなる所にはベッドを設置しないでください。誤動作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。

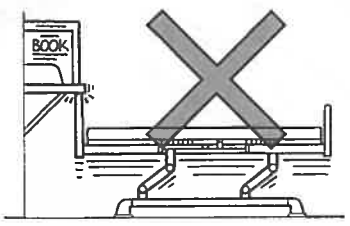
❻



❺冷暖房器による冷気や暖気が、ベッドに直接当たらないようにベッドを設置してください。

❻ベッドの電源はなるべく直接コンセントからとってください。コンセントや延長コードの容量を越える電気製品を同時に接続使用しないでください。電源コードやプラグが発熱する恐れがあります。

❼



❼ベッドは電動操作で動きます。特に高さ方向については、ベッドの高さ寸法が増すことによってベッド周りの什器備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。

8 開梱と部品の確認

⚠ 警告

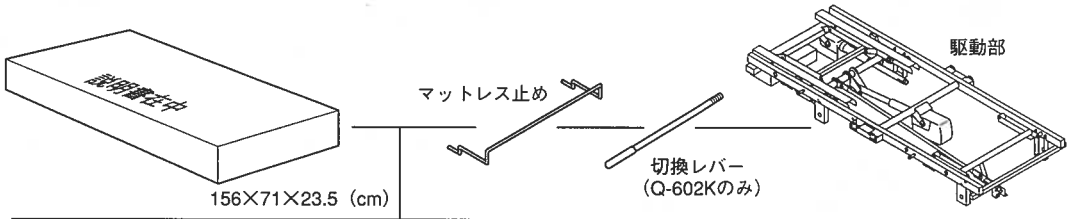
●重量のあるユニット（ベースフレーム、駆動部）を組み立てて、移動する際は、背や腰をいためる恐れがありますので2人以上で作業を行なってください。

⚠ 注意

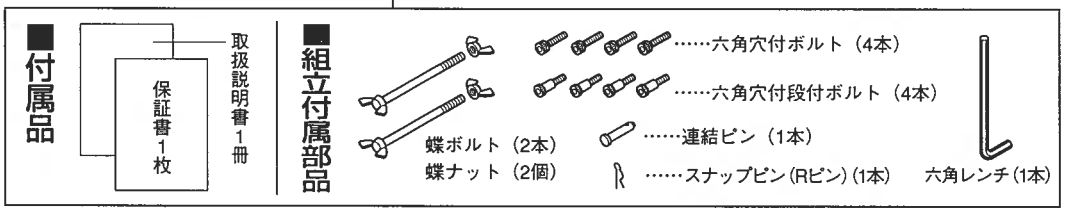
●組み立てのときにはユニットで手をはさまないように注意してください。

❶駆動部

Q602K
約26.0kg
（32.5kg）

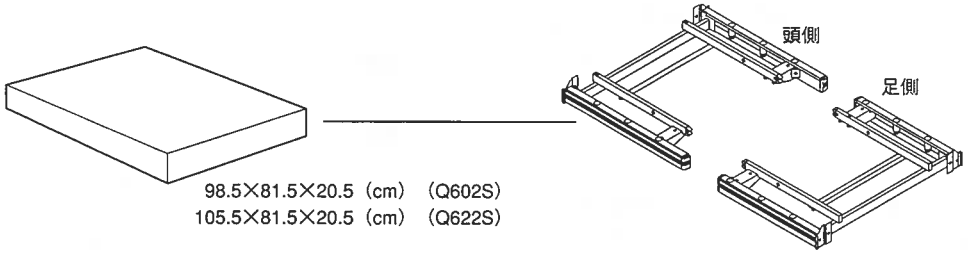


Q603K
約27.5kg
（34.0kg）



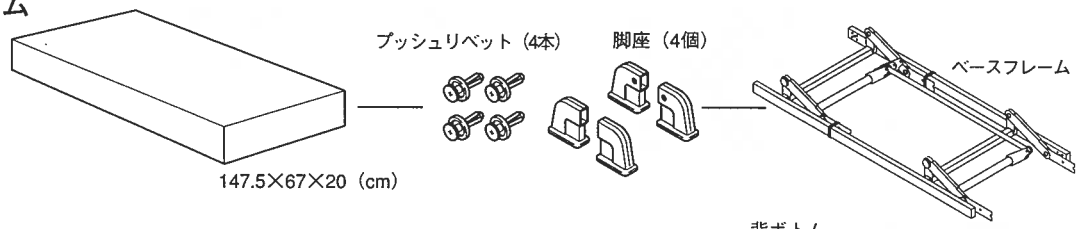
❷アクセサリフレーム

Q602S 約16.0kg （19.0kg）
Q622S 約17.0kg （20.0kg）



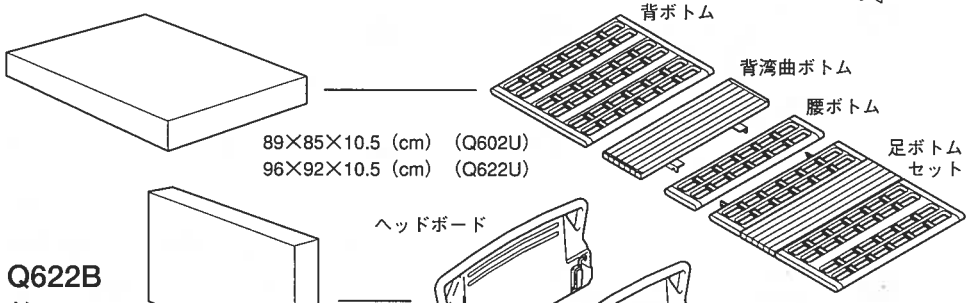
❸ベースフレーム

Q602V
約18.5kg
（22.0kg）



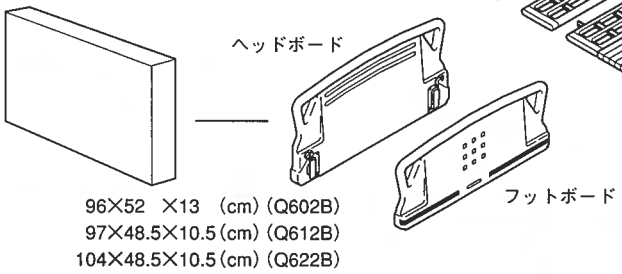
❹ボトムセット

Q602U 約16.0kg （18.0kg）
Q622U 約17.5kg （19.5kg）



❺ボードセット

Q602B 約7.0kg （8.0kg）
Q612B 約9.5kg （12.0kg）
Q622B 約10.0kg （12.5kg）

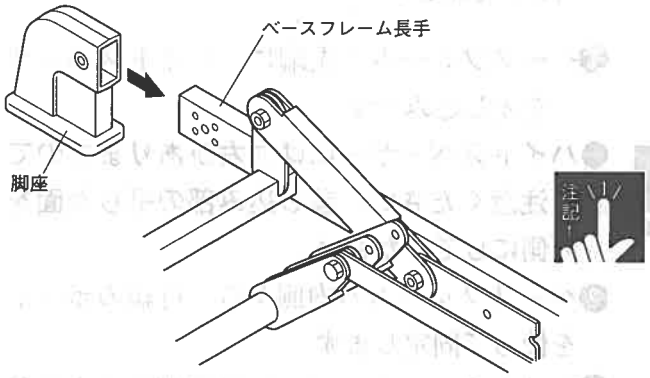


（ ）内の数字は梱包を含む重量です。

●開梱した時点で、まず上記の部品などがすべてあるかどうか、破損していないかどうか確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または弊社までご連絡ください。

9 ベッドの組立方法

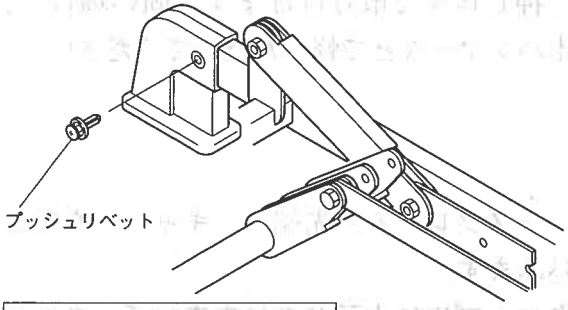
1.脚座の取り付け



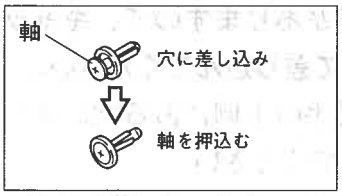
❶組み立ての前に14ページ「設置について」に従いベッドの配置をお決めください。組み立てた後に配置を変える場合、お部屋によっては困難なことがあります。ベッドの大きさは幅約1m、長さ約2.1mです。

❷ベースフレームを持ち、先端に脚座を差し込んでください。

●脚座には左右があります。穴のあいている方を内側にしてください。

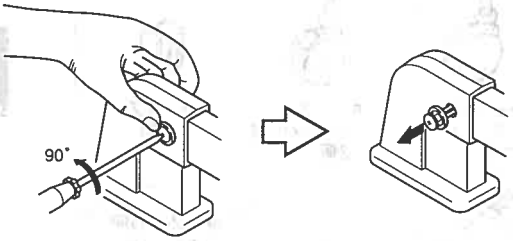


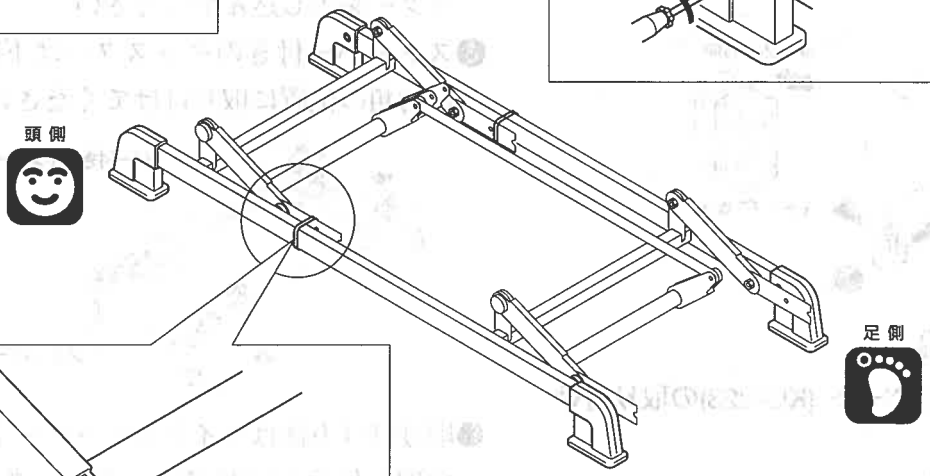
❸プッシュリベットを穴に差し込み、軸を押し込んで脚座をベースフレーム長手に固定します。

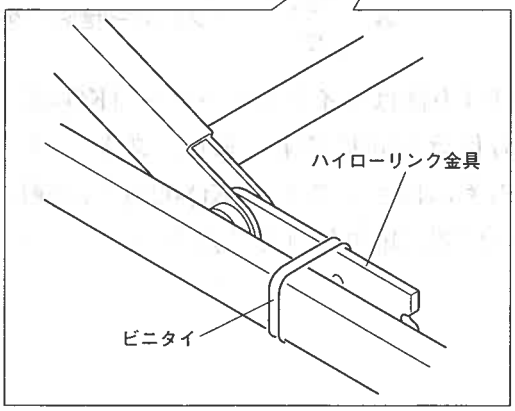


プッシュリベットを外すときは

●プッシュリベットのふちを押さえながら軸をプラスドライバーで90°左に回転させると固定が解除されます。そのまま抜いてください。



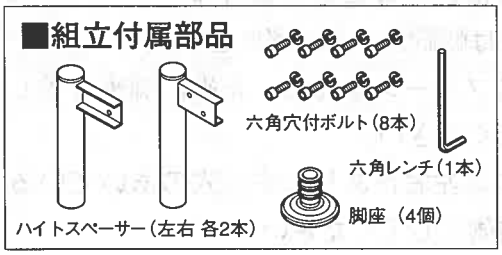


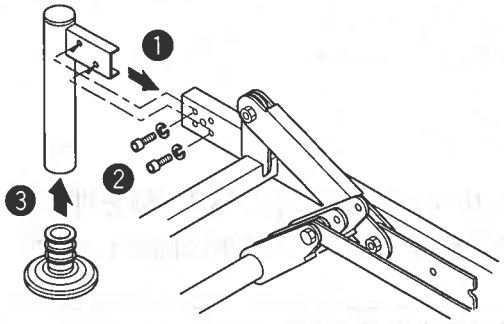


❹ハイローリンク金具を止めているビニタイを外してください。

2.「ハイトスペーサー・キャスター・キャスター付ハイトスペーサー」(別売)の取り付け

■ハイトスペーサー(KQ-027)の取り付け





●あらかじめ脚座が取り付けてある場合には、16ページの「プッシュリベットを外すときは」に従ってプッシュリベットを外し、脚座を取り外してください。

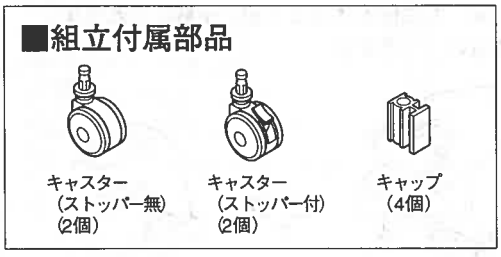
❶ベースフレームの先端に、ハイトスペーサーを差し込みます。

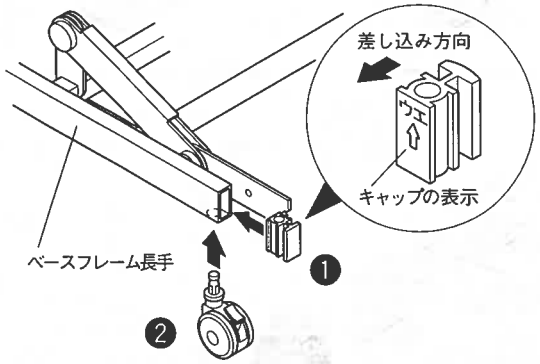
●ハイトスペーサーには左右がありますのでご注意ください。差し込み部の平らな面を内側にしてください。

❷ベースフレームの内側から、付属のボルトを使って固定します。

❸ハイトスペーサーに、部品の脚座を手で強く押し込んで取り付けます。固い場合は、木ハンマーなどで軽くたたいてください。

■キャスター(KQ-025)の取り付け



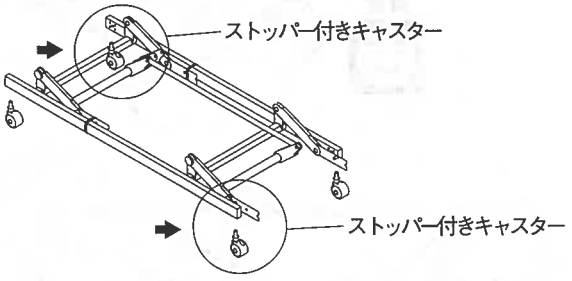


❶ベースフレームの先端に、キャップを差し込みます。

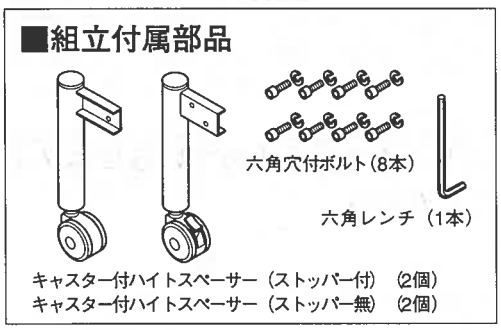
●キャップには上下がありますので、キャップの表示を確認して差し込んでください。

❷ベースフレーム長手の下側にある穴にキャスターを差し込んでください。

❸ストッパー付きのキャスターは下図のように対角の位置に取り付けてください。

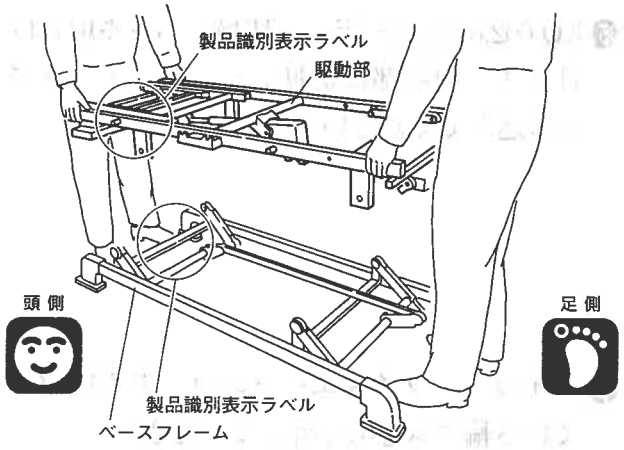


■キャスター付ハイトスペーサー(KQ-023)の取り付け

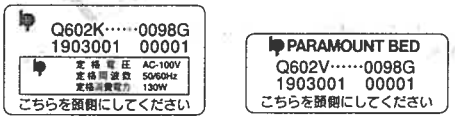


●取り付け方法はハイトスペーサー (KQ-027) の取り付けと同じです。また、ストッパー付きのものはキャスター(KQ-025)と同様に対角の位置に取り付けてください。

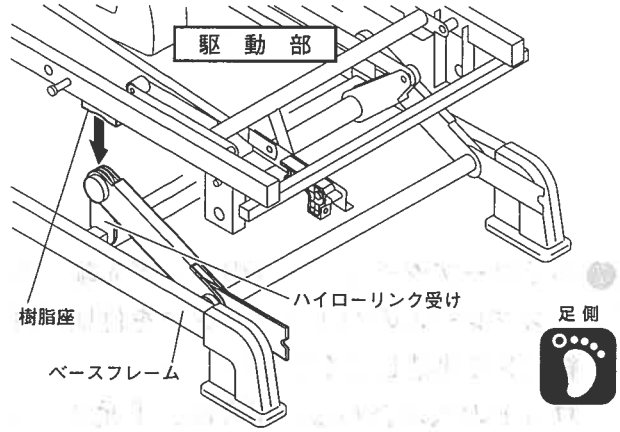
3.駆動部の取り付け



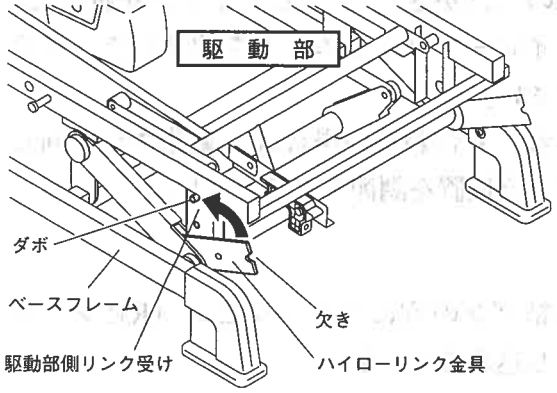
❶駆動部を図のように、コントロールボックスを頭側に向けて二人で持ってください。ベースフレームの「製品識別表示ラベル」(45ページ参照)が貼ってある方が頭側となります。



製品識別表示ラベル



❷樹脂座とハイローリンク受けが合わさるように駆動部をベースフレームに乗せてください。



❸ベースフレームのハイローリンク金具にある欠きを、駆動部側リンク受けのダボにはめてください。

❹ハイローリンクを持ち上げながら穴位置を合わせ、付属のボルト(六角穴付ボルト)を手締めにより取り付けてください(4ヶ所)。

注記

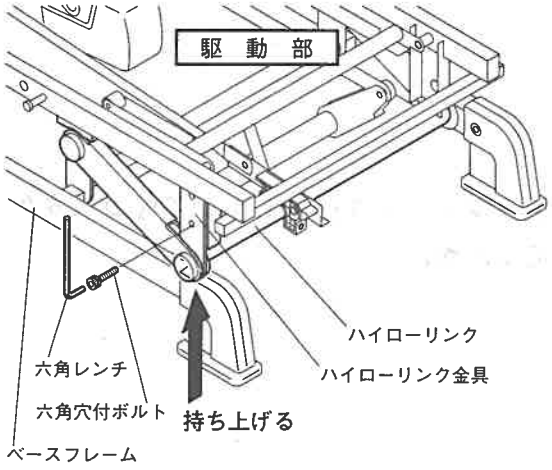
●足側のハイローリンク金具から先に取り付けると、楽に組み立てられます。

❺付属の六角レンチでボルトをしっかり締めつけ、駆動部側リンク受けにハイローリンク金具を固定してください。

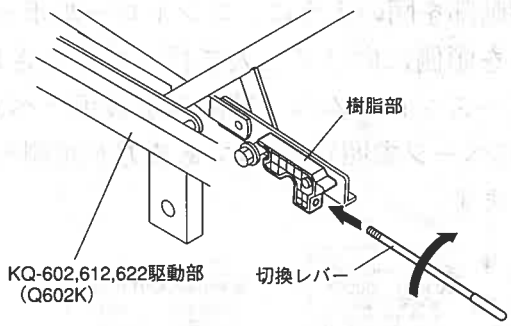
注記

●ボルトを締めつける前に、駆動部側リンク受けのダボとハイローリンク金具の欠きがはまっていることを確認してください。

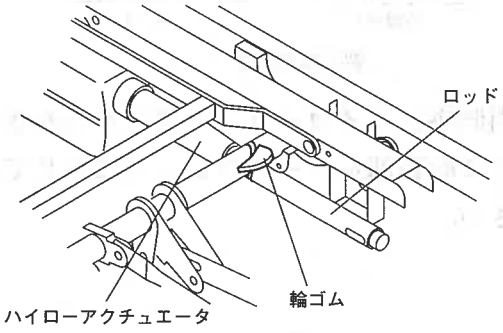
●六角レンチでボルトを締めつける際は、力が十分入るように六角レンチの長い方を持って行なってください。



3.駆動部の取り付け

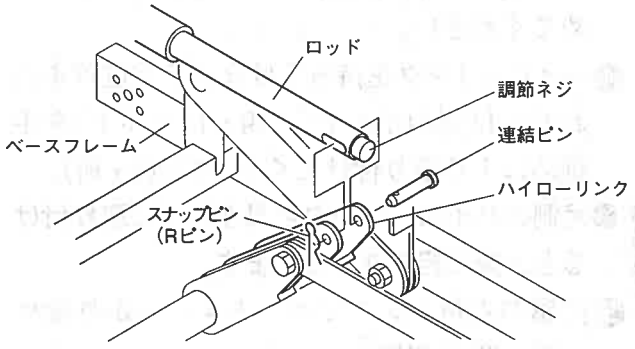


❺KQ-602,612,622の場合、切換レバーを取り付けます。樹脂部に切換レバーを止まるまでねじ込んでください。

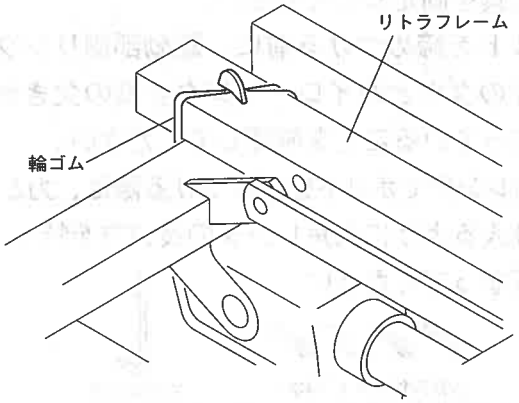


❻ハイローアクチュエータのロッドを固定している輪ゴムを取り外してください。

❼ハイローアクチュエータのロッド先端とベースフレームのハイローリンクを付属の連結ピンで連結してください。
ロッドの穴が合わない場合は、手元スイッチの「たかさ」「さがる」ボタンを押して、ハイローアクチュエータを伸ばしきってください。
それでも合わない場合は、調節ネジを回して、穴位置を調節してください。

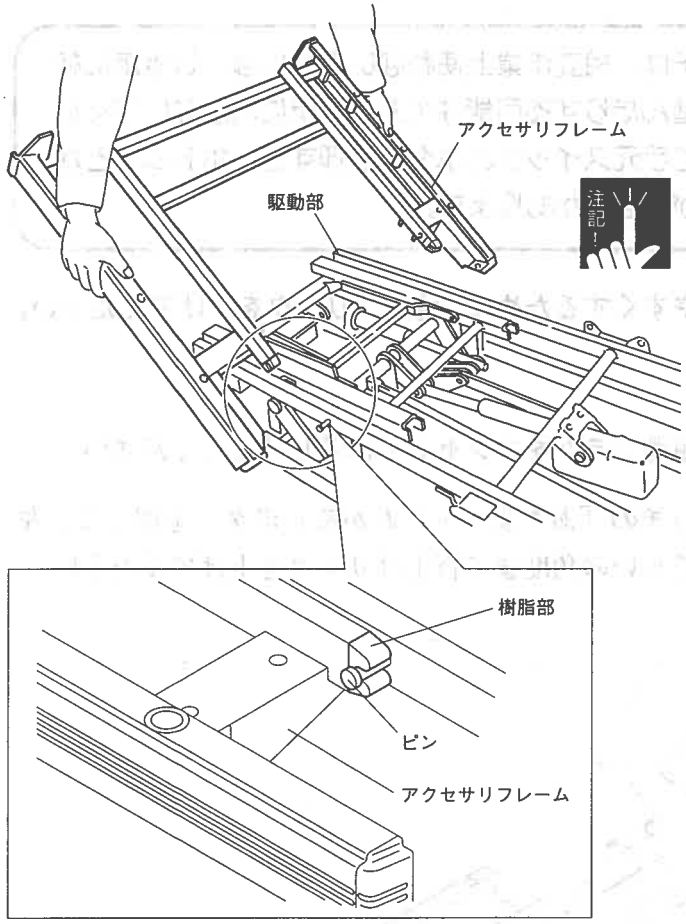


❽連結ピンの穴にスナップピン（Rピン）を差し込んでください。



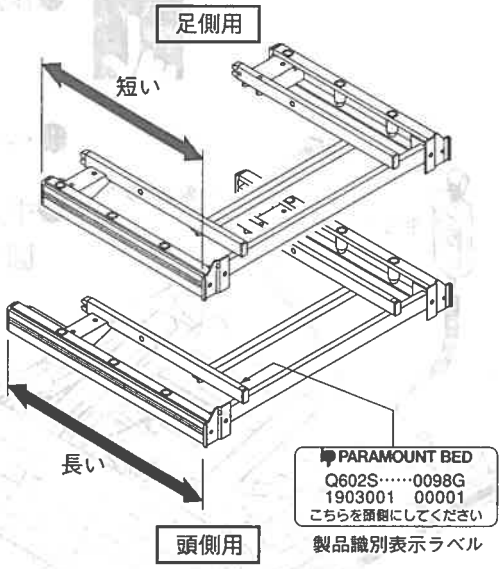
❾リトラフレームを固定している輪ゴムを外してください。

4.アクセサリフレームの取り付け

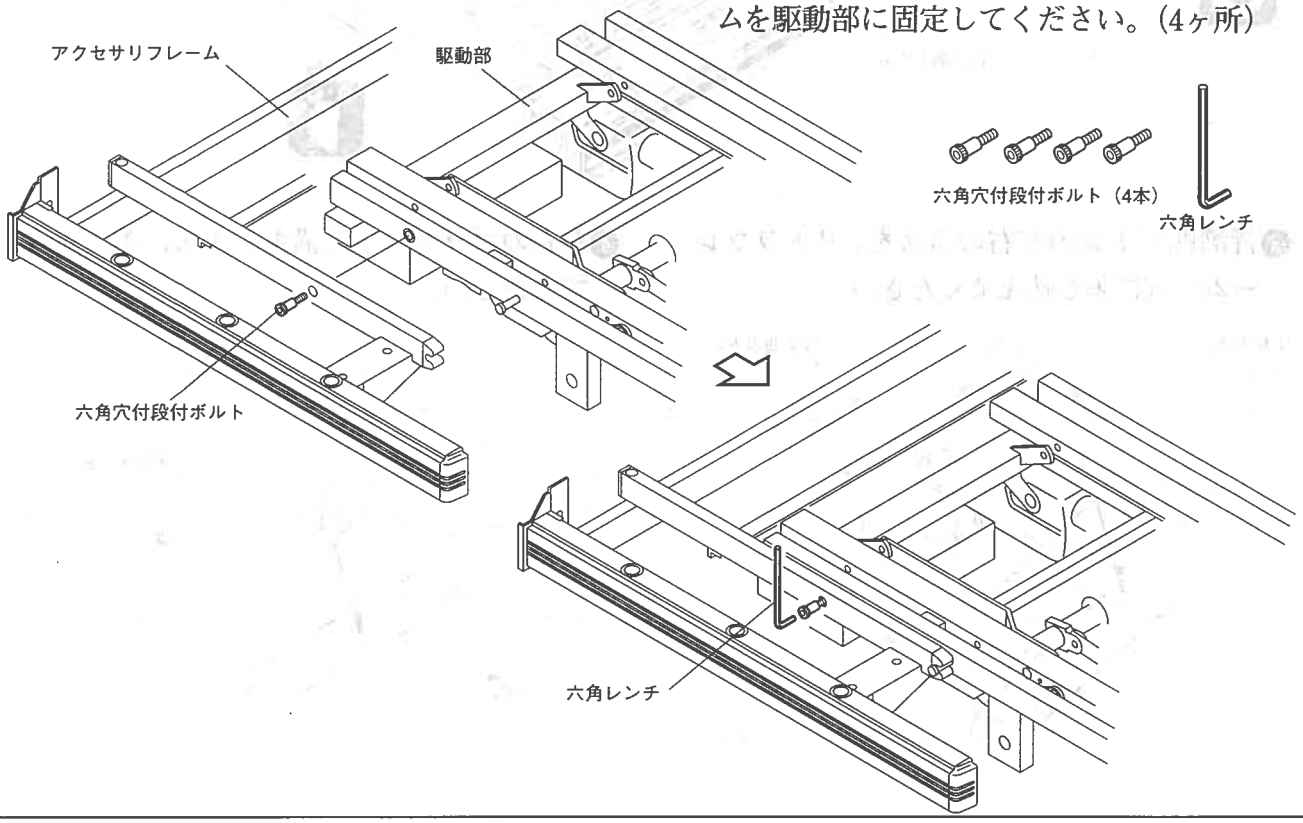


❶アクセサリフレームの樹脂部を駆動部のピンに合わせながら、アクセサリフレームを駆動部の上に乗せてください。

●**アクセサリフレームには頭側用と足側用があります。間違えないように取り付けてください。**



❷付属のボルトと六角レンチでアクセサリフレームを駆動部に固定してください。(4ヶ所)

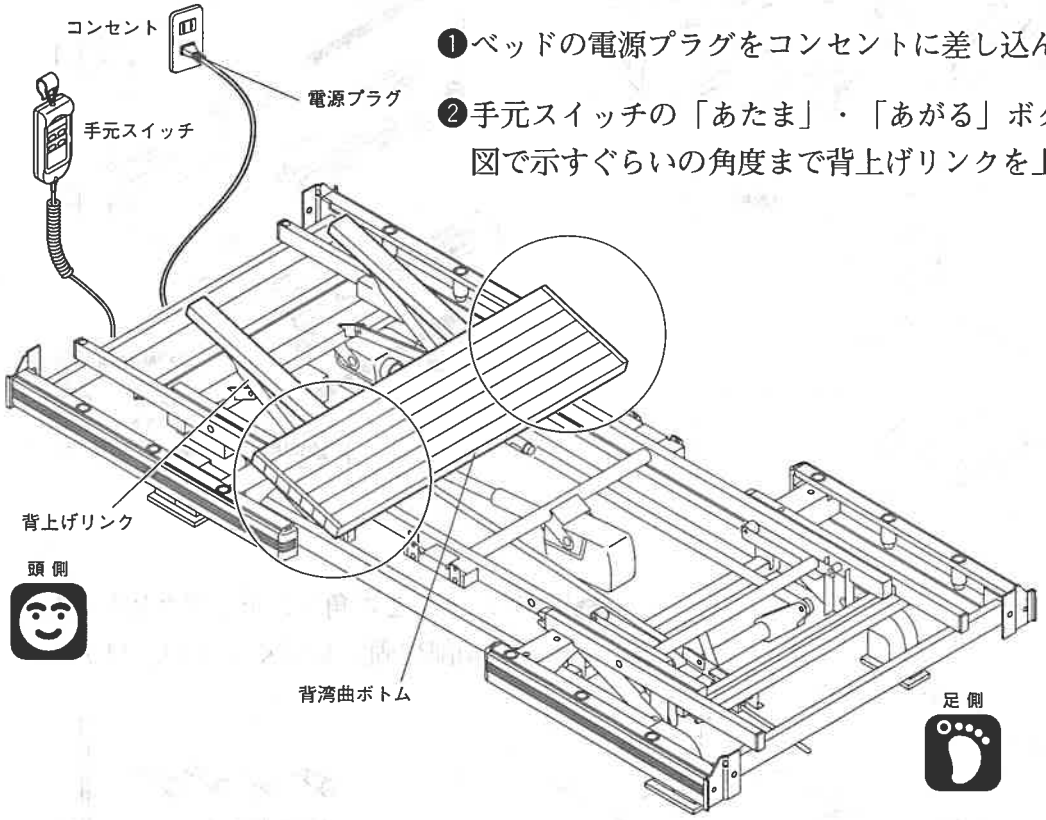


5.背湾曲ボトムの取り付け

⚠注意

●手元スイッチは、組立作業上使わない場合には、じゃまになったり足で踏んだりする可能性のある場所に置かないでください。誤って手元スイッチのボタンを押すと、ボトムなどが動作してけがの恐れがあります。

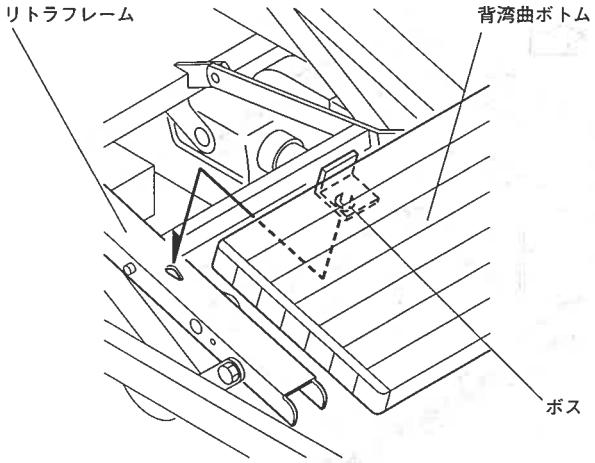
●作業をしやすくするために、背上げリンクを上げてください。



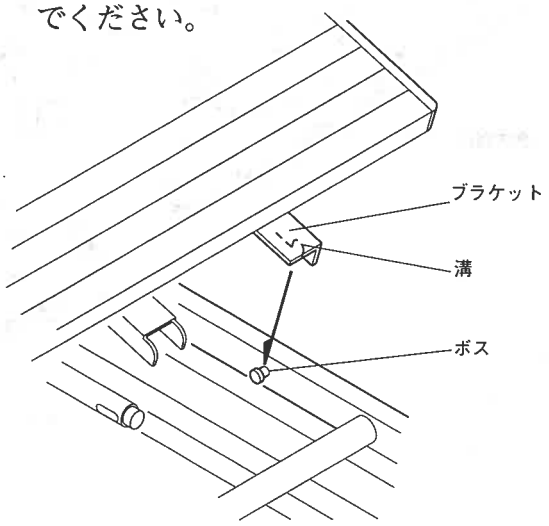
❶ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

❷手元スイッチの「あたま」・「あがる」ボタンを押して、左図で示すぐらいの角度まで背上げリンクを上げてください。

❸背湾曲ボトムの左右のボスを、リトラフレームの穴に差し込んでください。



❹左右のブラケットの溝を、ボスに差し込んでください。

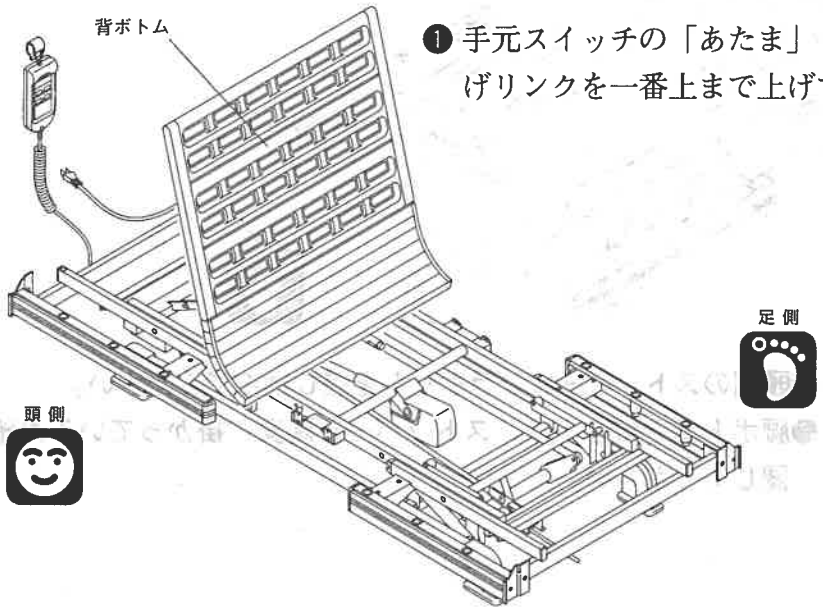


6.背ボトムの取り付け

⚠注意

●手元スイッチは、組立作業上使わない場合には、じゃまになったり足で踏んだりする可能性のある場所に置かないでください。誤って手元スイッチのボタンを押すと、ボトムなどが動作してけがの恐れがあります。

●作業をしやすくするために、背上げリンクを一番上まで上げてください。

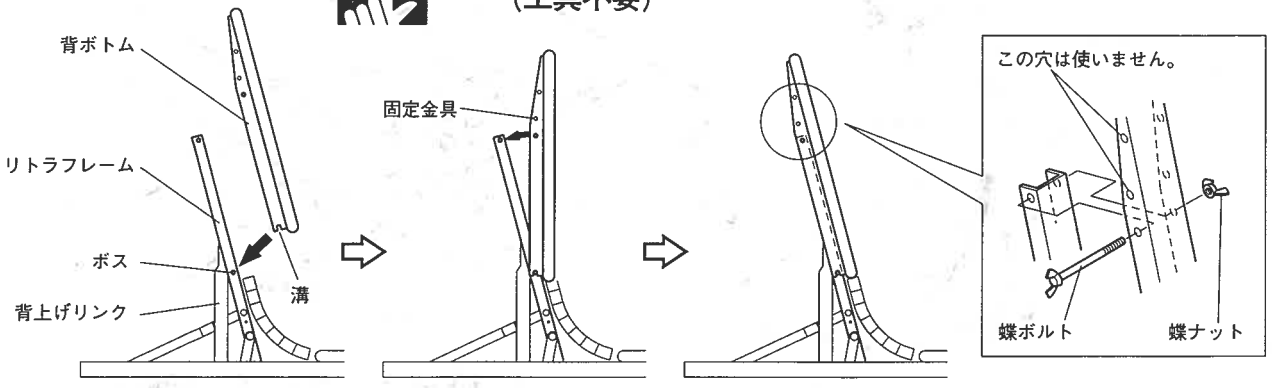


❶手元スイッチの「あたま」・「あがる」ボタンを押して背上げリンクを一番上まで上げてください。

❷背ボトムの溝をリトラフレームのボスに差し込んでください。

❸背ボトムをリトラフレームの方にたおし、背ボトムとリトラフレームの穴位置を合わせ、蝶ボルトを差し込み、蝶ナットで固定してください。

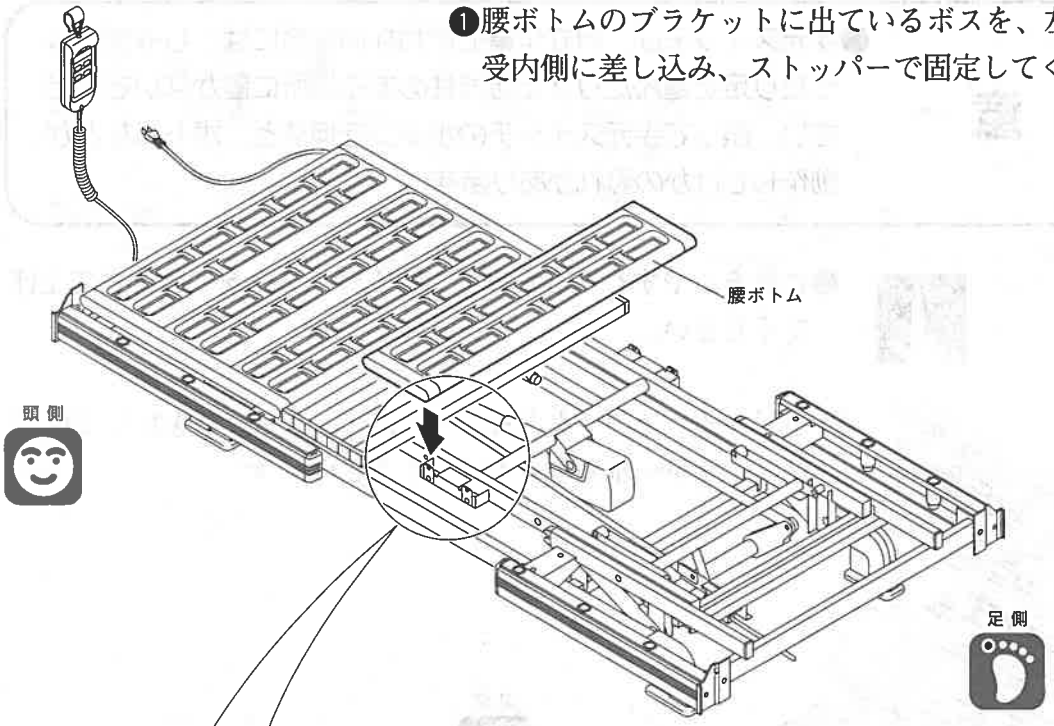
●蝶ナットは左右共、手で十分に締め付けてください。
（工具不要）



❹手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下まで下げ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

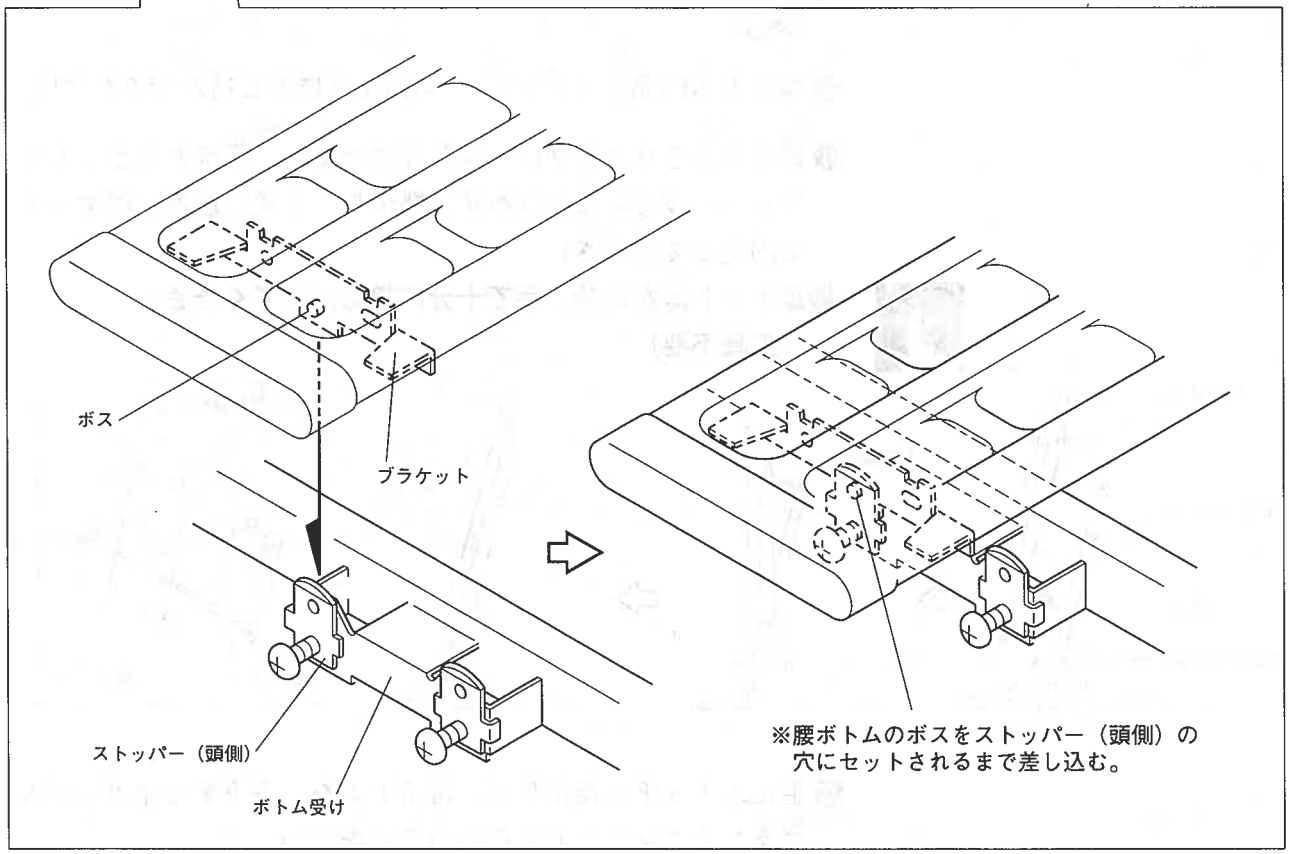
7.腰ボトムの取り付け

❶腰ボトムのブラケットに出ているボスを、左右とも、ボトム受内側に差し込み、ストッパーで固定してください。



注記！

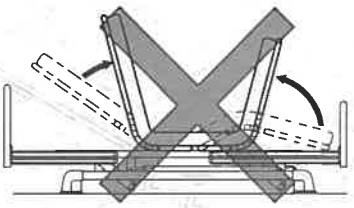
●頭側のストッパーにブラケットを差し込んでください。
●腰ボトムを持ち上げ、ストッパーが確実に掛かっているか確認してください。



8.足ボトムセットの取り付け

⚠注意（ちゅうい）

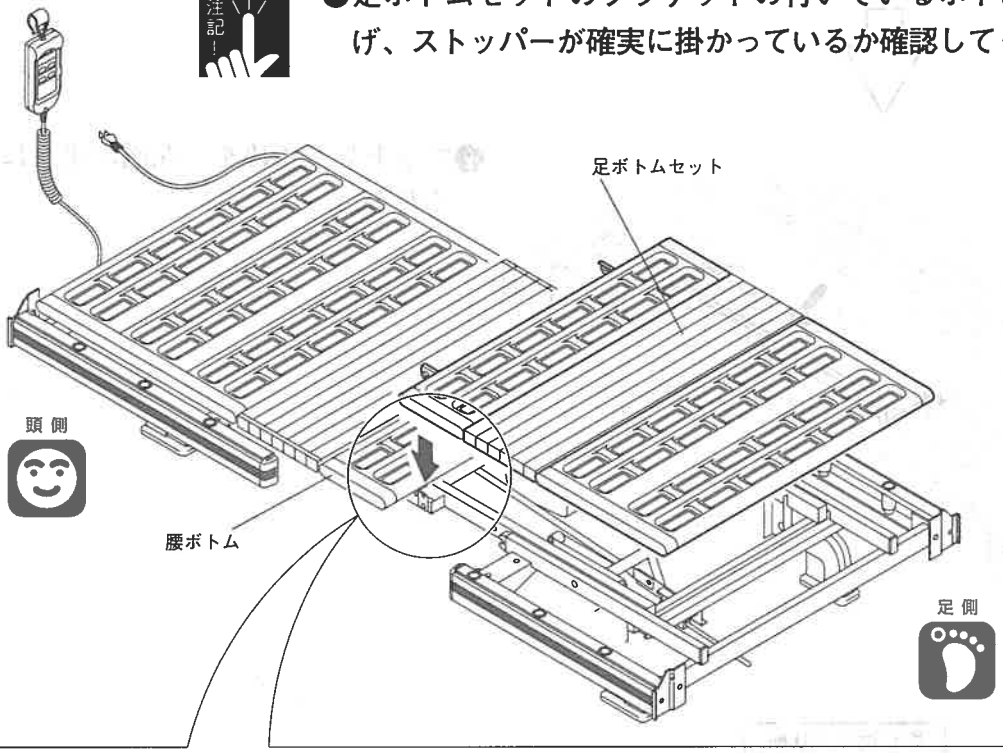
●背ボトム・足ボトムセットを持ち上げて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。変形・破損の恐れがあります。

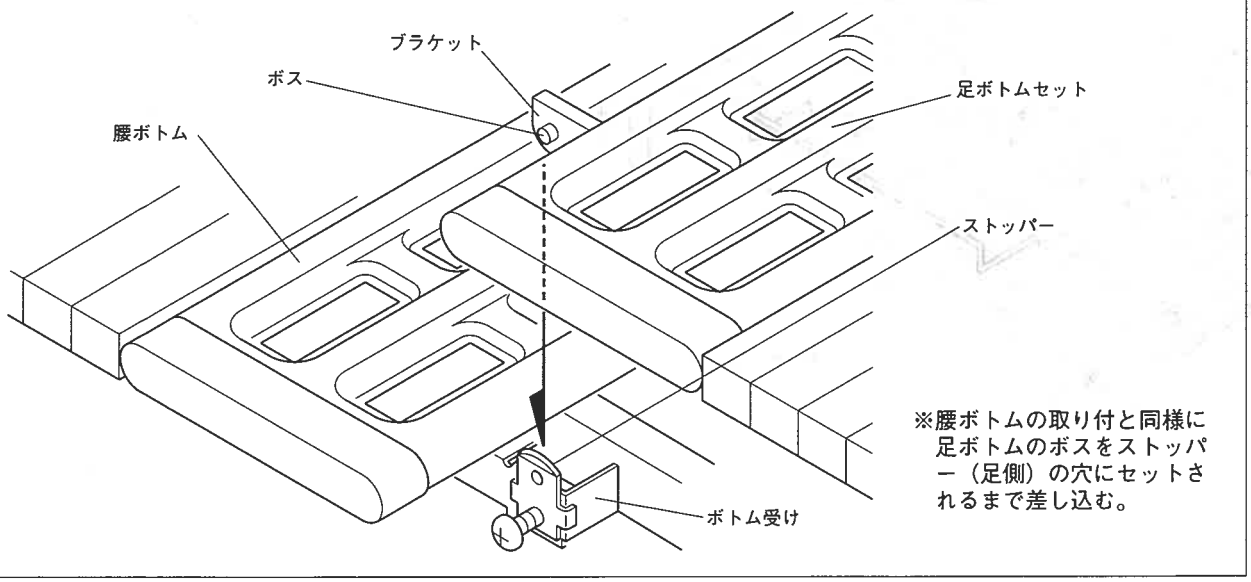


❶足ボトムセットのブラケットに出ているボスを左右とも、ボトム受内側に差し込み、ストッパーで固定してください。

注記

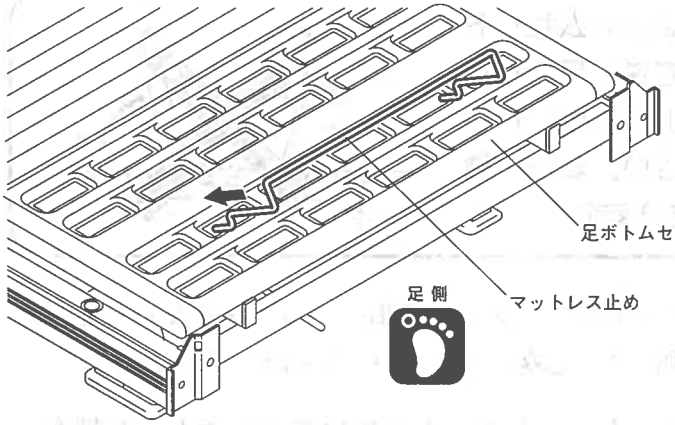
●足ボトムセットのブラケットの付いているボトムを持ち上げ、ストッパーが確実に掛かっているか確認してください。



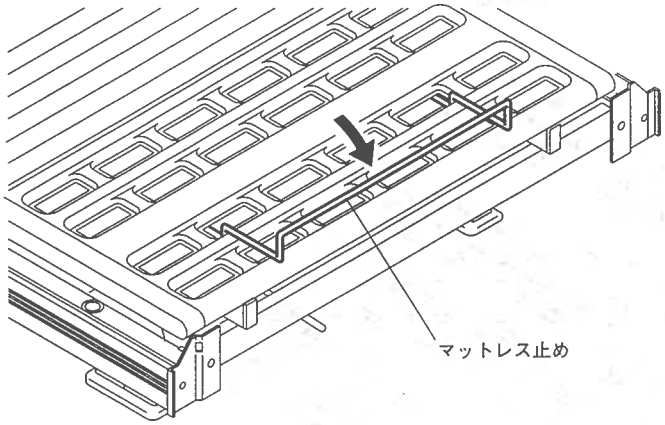


※腰ボトムの取り付と同様に足ボトムのボスをストッパー（足側）の穴にセットされるまで差し込む。

9.マットレス止めの取り付け

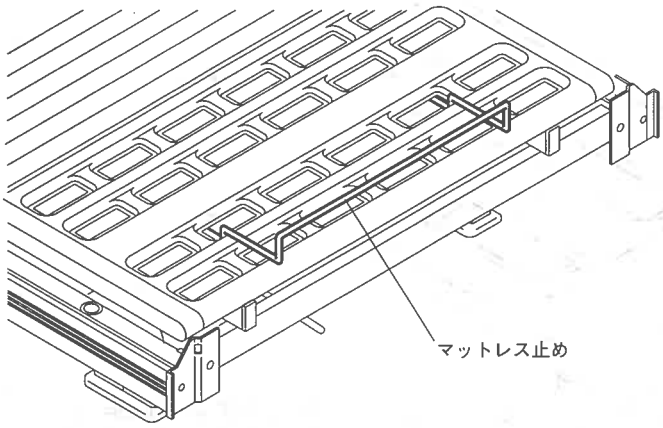


❶左図のように、足ボトムセットの穴にマットレス止めの先端を斜めに差し込んでください。



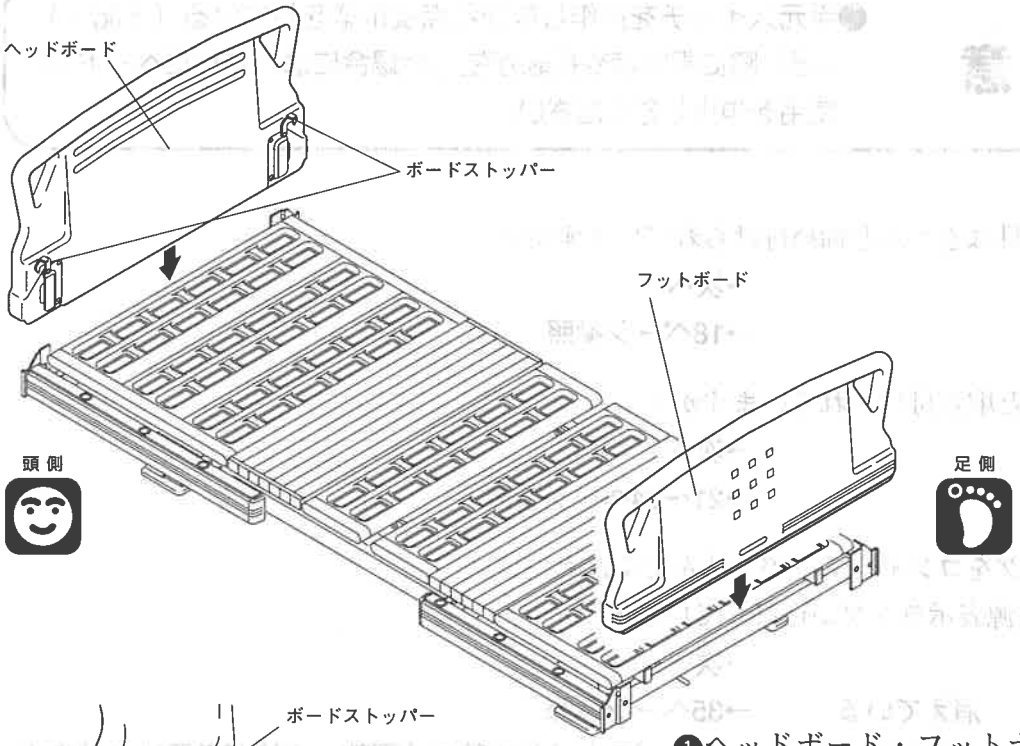
❷マットレス止めを、左図のようにたおしてください。

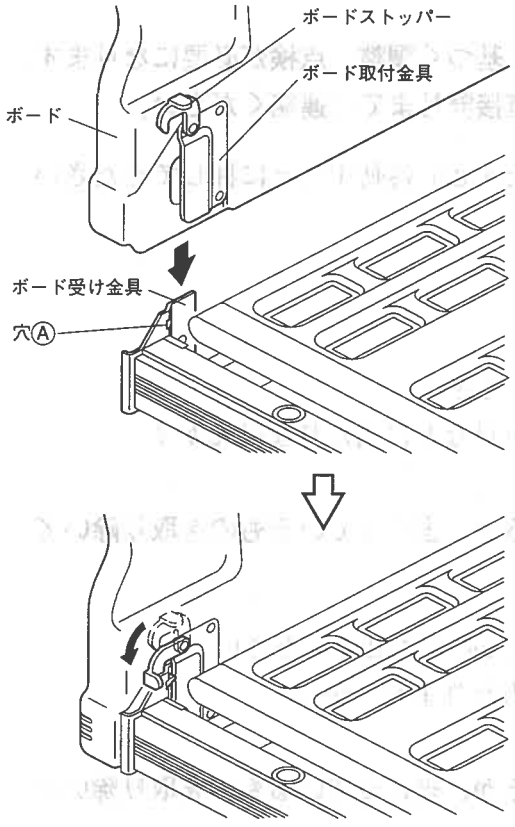
取り付けた状態



10.ヘッドボード・フットボードの取り付け

■ヘッドボード・フットボードにはボードストッパーが付いていますので、下記の手順で取り付けを確実に行なってください。ともに、まっすぐ最後まで差し込んでください。





❶ヘッドボード・フットボードを梱包箱より取り出し、ボードストッパーを左図のようにして差し込んでください。

注記！

●ボードの取付金具がベッド側のボード受金具にかぶさるようにボードを差し込んでください。

●ボードの中央部に安全ラベル（警告、注意事項が記載されているシール）が貼ってある方を足側に取り付けてください。

❷ボードストッパーがボード受金具の穴Aに確実にかかっているか、必ず確認してください。

⚠警告

●ボードストッパーをかけ忘れたり、かけかたが不完全である場合、不意にボードがはずれてけがをする恐れがあります。

10 組み立て後の点検

■ベッドの組み立てが終わりましたら、下記の項目について点検を行なってください。

⚠注意

●手元スイッチを操作しながら点検作業をしている（下記：1～6）際に異常音や振動が生じた場合には、すぐにベッドの使用を中止してください。

組立後の点検

1.ハイローリンク金具はきちんと締め付けられていますか？

□はい　→次へ

□いいえ　→18ページ参照

2.各ボトムはきちんと取り付けられていますか？

□はい　→次へ

□いいえ　→21～24ページ参照

3.ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
手元スイッチの電源表示ランプが点灯していますか？

□はい　→次へ

□いいえ　消えている　→35ページ参照

点滅している　→サービスガイドに基づく調整、点検が必要になります。販売店もしくは直接弊社までご連絡ください。

4.手元スイッチの「さがる」ボタンを、「あたま」「あし」「たかさ」各動作ごとに押してください。
手元スイッチの電源表示ランプが点滅しませんか？

□点滅しない　→次へ

□点滅する　→35ページ参照

5.手元スイッチを操作して、背ボトムを一番上まで上げてください。
ベッドの背ボトムがどんな角度になっていても、周囲の家具などに当たりませんか？

□当たらない　→次へ

□当たる　→ベッドを移動するか、当たっているものを取り除いてください。

6.手元スイッチを操作して、ベッドの高さを最低から最高まで動作させてください。
ベッドがどんな高さになっていても、周囲の家具などに当たりませんか？

□当たらない　→点検終了

□当たる　→ベッドを移動するか、当たっているものを取り除いてください。

ベッドは、高さが最低から最高まで動作したとき、足側に約5cmスウィングします。
足側のスペースには余裕を持たせてください。

11 マットレスの使用方法とご注意

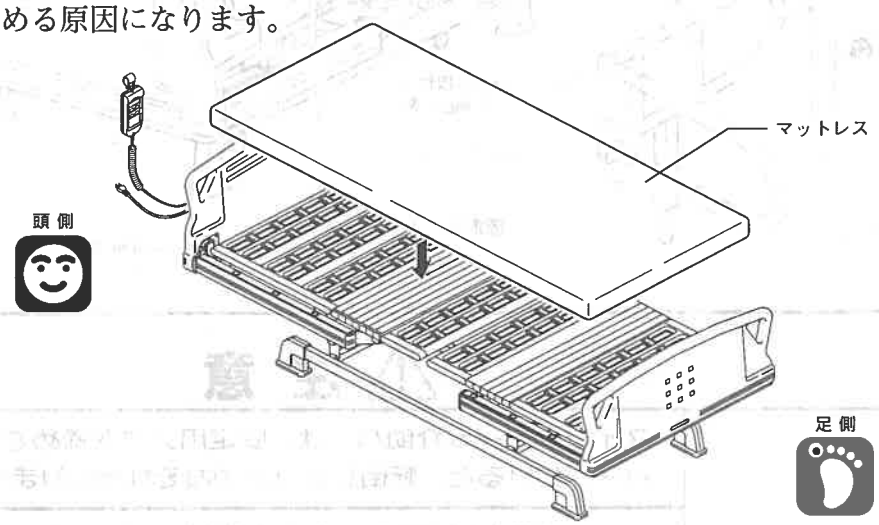
⚠注意

●このベッドには、必ず弊社製のマットレスを組み合せてご使用ください。他社製のマットレスは、寸法や折れ曲がりの点で、適合しないだけでなく、ベッドに負担をかけ、故障の原因となる事があります。

●ウォーターマットレスは適合しません。

■弊社のパラケアマットレス、ニューサマットレス他のマットレス(下記参照)が組み合せられます。

このベッドは、身体の動きに合わせて、背や膝が滑らかに曲がる構造（キューマライン）になっています。このため、折れ曲がる箇所が一定であるスプリングマットレスをご使用になりますと、キューマラインの効果がでなくなるばかりでなく、スプリングマットレスのコイルユニットおよび枠線をいためる原因になります。



注記

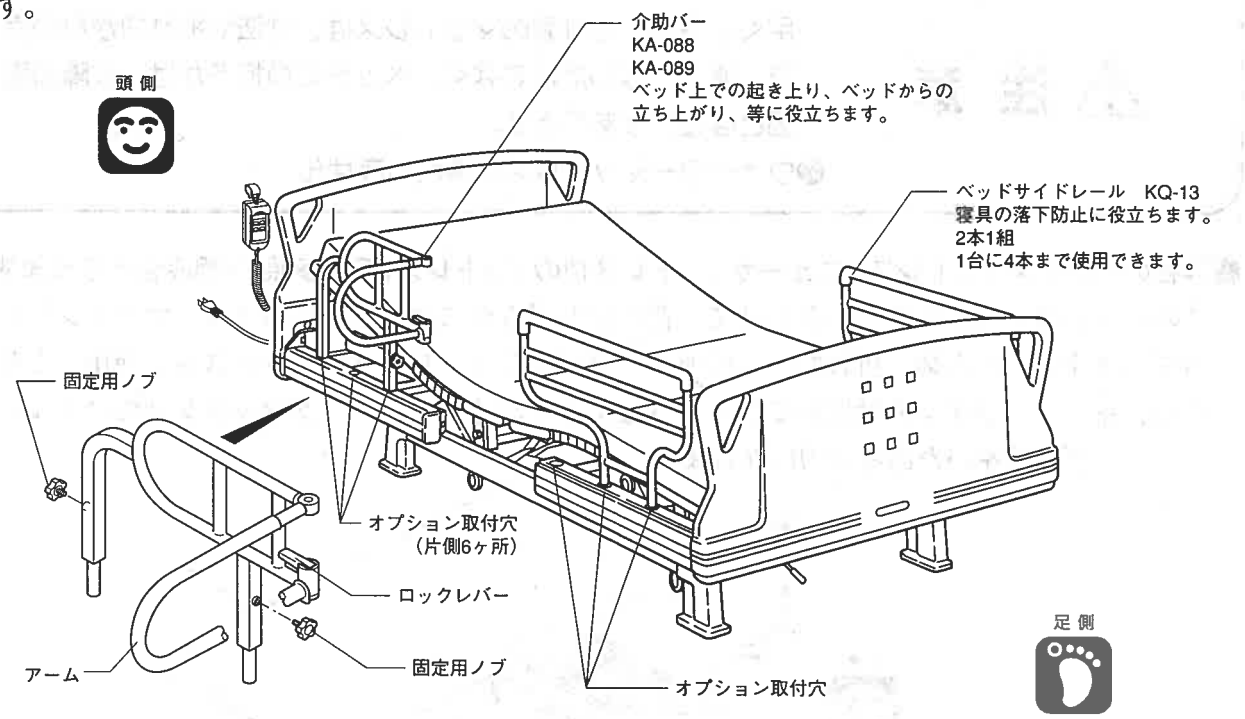
●KQ-602,603,612,613にはボトム幅830用のマットレスが適合します。
KQ-622,623にはボトム幅910用のマットレスが適合します。

KE-653 KE-651	パラケアスーパーマットレス	●硬めのマットレスです。腰掛けた時、手をついた時の沈み込みが少なく、体の保持と安定性に優れています。ご自身でベッドからの立ち上がりを行う方や硬めの寝心地を望まれる方に適しています。 ●硬すぎる場合にはマットレスに敷くパッドを重ねるか、厚みのある物を使用してください。 ●上下、裏表の区別はありません。
KE-603 KE-601	パラケアマットレス	
KE-113	ニューサマットレス	●パラケアマットレスに比べ軟らかめのマットレスです。下記のクレーターマットレス程には軟らかくありませんので、広範囲にお使いいただけます。 ●上下、裏表の区別はありません。
KE-763 KE-761	クレーターマットレス	●ウレタンフォームマットレスで上記のパラケアマットレスやニューサマットレスに比べ軟らかめです。ベッド上で過ごす時間の長い方に適しています。 ●裏面と表面がありますのでマットレスの表示をうえにしてご使用ください。
KE-803 KE-801	マキシーフロートマットレス	●じょくそう（床ずれ）予防を目的とした、かなり軟らかめのマットレスです。他のマットレス同様、直接ベッドに乗せて使用します。寝たきり、もしくは寝たきりに近い症状の方にお勧めします。 ●上下、裏表が決っています（KE-853は裏表のみ）。マットレスの表示にあわせてご使用ください。
KE-853	パラフロートマットレス	

12 オプションの取り付けとご注意

1.介助バー・ベッドサイドレールについて

■ベッド両サイドのオプション取付穴を利用して、介助バー、ベッドサイドレールが使用できます。



⚠注意（ちゅうい）

KA-088 KA-089	スイングアーム介助バーは、固定用ノブを締めてご使用ください。介助バーが抜けると、転倒してけがのおそれがあります。
	ベッドの背上げ操作を行なうときは、アームをベッド側（ベッドの内側）に向けたままで行なわないでください。ベッドと介助バーの間に体をはさむとけがの恐れがあります。
	介助バーのアーム（握りの可動部分）ロックレバーを必ず固定してご使用ください。固定せずに使用しますと、不安定なため、つかまった時に転倒してけがの恐れがあります。
KQ-13 KA-16 KA-17	ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている人の転落防止、寝具の落下防止を目的としています。立ち上がり時など、支えとしてお使いになる場合は介助バーをお使いください。ベッドサイドレールはベッドへの取り付け、取り外しが素早く行なえるように、ストッパー機構は付いておりません。体重がかかっている状態で抜けると、転倒してけがの恐れがあります。
	ベッドサイドレールを２本使い（左右１本づつ）で、寝ている方が転落する恐れがある場合には、ベッドの左右各２本づつで、ベッドの側面をおおってください。

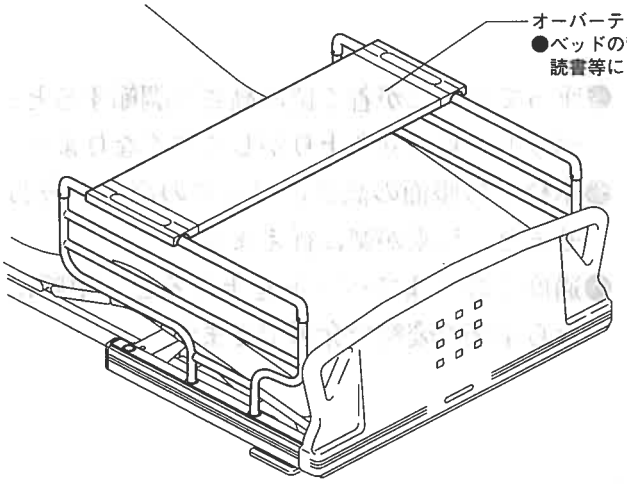
注記

●介助バーに添付されている説明書も合わせてお読みください。

●ベッド用のオプションを別途購入し組み合せる場合は、仕様変更等の理由によりこの取扱説明書の記述と異なる場合があります。ご不明な点は販売店までお問い合わせください。

2.オーバーテーブル・キャスター・ハイトスペーサーついて

■オーバーテーブル



オーバーテーブルとサイドレールの組み合せは、以下の表のようになります。

サイドレール	適応するオーバーテーブル	
	KQ-602,603,612,613	KQ-622,623
KQ-13	KQ-063	KQ-066
KA-16 KA-17	KQ-061	KQ-065

⚠注意（ちゅうい）

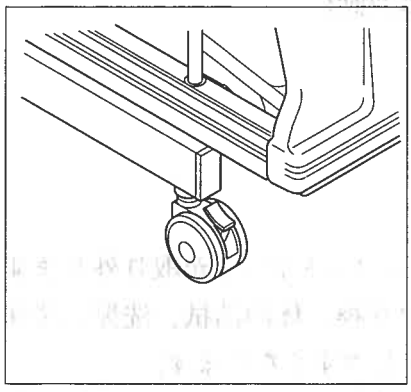
- ●ベッドの背を上げたとき、身体とオーバーテーブルの間隔が適度に保てるようにしてください。
- ●オーバーテーブルに重い物を載せたままにしたり、水などをこぼしたまま放置しないでください。テーブルの変形、化粧板のはがれを生じることがあります。

注記

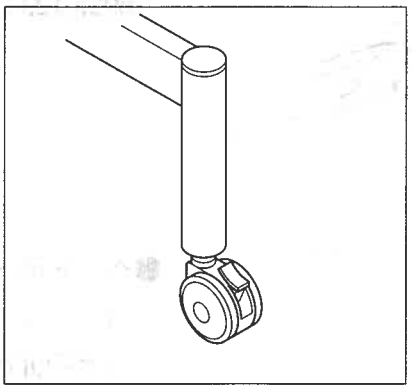
●オーバーテーブルはベッドサイドレールにのせて使用します。単独では使用できません。KQ-13,KA-16,KA-17,等と組み合わせてください。

■キャスター・ハイトスペーサー

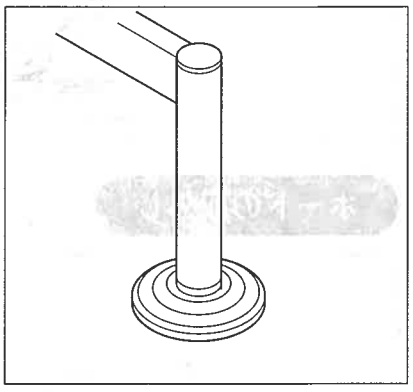
キャスター（KQ-025）



キャスター付ハイトスペーサー（KQ-023）



ハイトスペーサー（KQ-027）

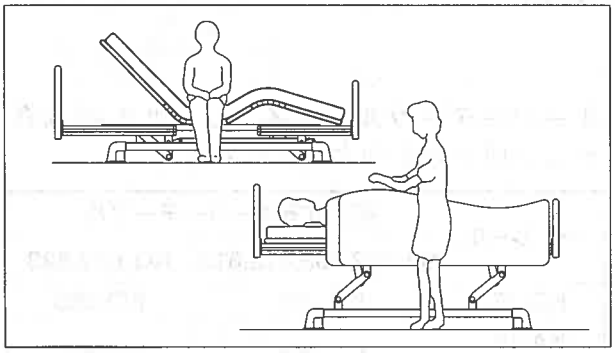


	KQ-025	KQ-023	KQ-027
ゆかからボトム面までの高さ	30～60cm	40～70cm	

13 ベッドの使用方法

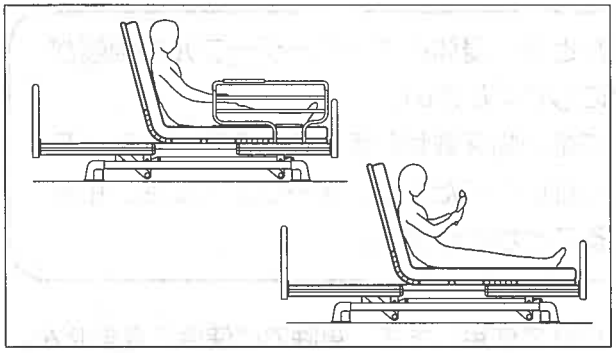
■動きを理解していただくために、ベッドサイドレール等を取り外した状態で書いてあります。

高さ調節



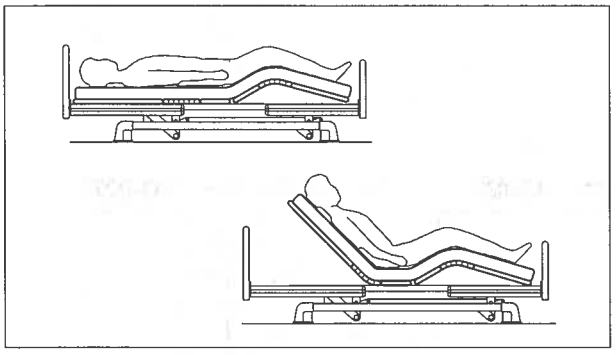
●座ってかかとが着く位の高さに調節すると、ベッドからの立ち上りがしやすくなります。
●車椅子の座面の高さにベッドの高さを合わせると、移乗が楽に行えます。
●適度な高さまでベッドを上げると、中腰にならず楽な姿勢で介護できます。

背上げ



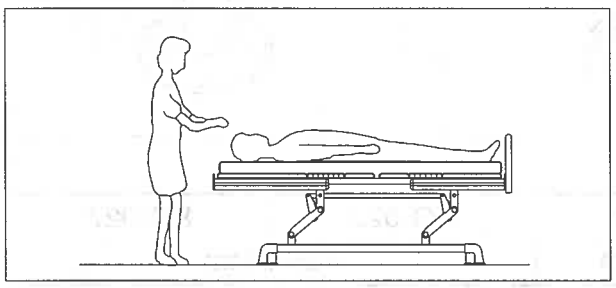
●ベッドからの起き上りに役立ちます。
●ベッド上での食事、読書等に便利です。

膝上げ



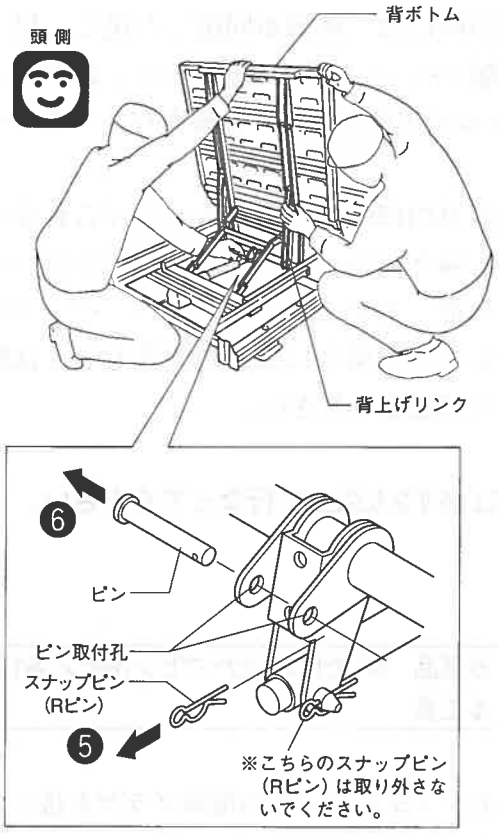
●背上げを行なう場合、先に膝を上げておくと体のずれを少なくできます。(KQ-603,613,623)
●背と膝の角度を適度に上げると、体に負担のかからない楽な姿勢がとれます。(KQ-602,612,622は連動)

ボードの取外し



●ヘッドボード・フットボードが取り外せますので、シーツ交換、体の清拭、洗髪、洗顔などの介護がしやすくなります。
●ボードの取り外し方法は38ページをご覧ください。

1.背下げのしかた



■KQ-602,603,612,613,622,623には、背ボトムが上がっている状態で、停電やベッドの故障により背ボトムが下げられなくなった場合のために、手動で背ボトムを下げる機能があります。停電などの際には、以下の手順で背下げ操作を行なってください。
膝上げ、高さ調節は手動による操作はできません。

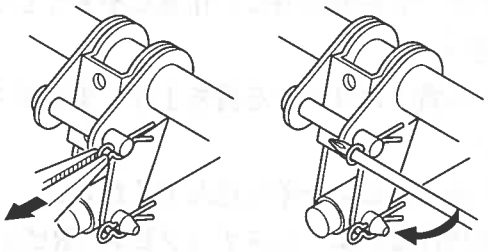
注記！ **●作業は必ず2人以上で行なってください。**

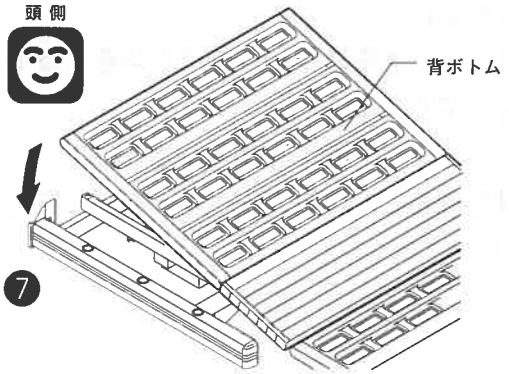
使用する工具	ペンチもしくはプライヤー（小）

❶コンセントからベッドの電源プラグを抜いてください。
❷療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。
❸ヘッドボードを取り外し、作業しやすくしてください。
❹背ボトムと背上げリンクを押さえてください。
❺ピンについているスナップピン（Rピン）を取り外してください。
❻ピンを取り外してください。ピンを取り外すと背上げリンクが自由に動くようになります。
❼背上げリンクを手で支えながら背ボトムを降ろしてください。
❽ヘッドボードを取り付けてください。
❾寝具と療養している方をベッドに戻してください。

スナップピン（Rピン）の抜き方

●ペンチ、プライヤー（小）ではさんでひっぱるかもしくは、ドライバーの先でこじると取り外しが容易です。

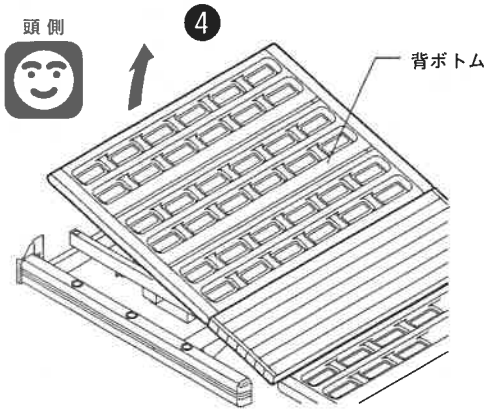


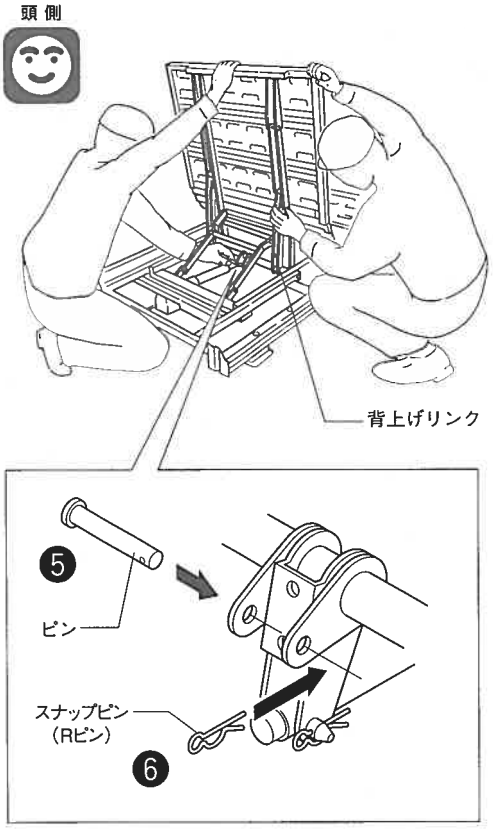


注記！ **●外したピンおよびスナップピン（Rピン）は復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。**

●この作業を行ったときは、復帰作業を行ってもとの状態にもどすまで電源プラグはコンセントから、抜いたままにしてください。

2.もどしかた





■停電の時には、電源が回復した後に、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、27ページ「組立後の点検」に従い点検を行なってください。
停電以外の理由で背ボトムが下げられなくなった場合、35ページ「故障かな?と思ったら」に従ってチェックを行ない、ベッドが故障している場合には、販売店もしくは弊社までご連絡ください。

注記！

●作業は必ず2人以上で行なってください。

使用する部品	外したピン、スナップピン（Rピン）各1本
使用する工具	—

❶ コンセントからベッドの電源プラグを抜いてください。
❷ 療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。
❸ ヘッドボードを取り外し、作業しやすくしてください。
❹ 背ボトム背上げリンクを持ち上げ、支えてください。
❺ 外してあったピンを差し込んでください。
❻ ピンが抜けないようにスナップピン（Rピン）を差し込んでください。
❼ ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
❽ 手元スイッチを操作して背ボトムを一番下まで下げてください。
❾ ヘッドボードを取り付けてください。
❿ 寝具と療養している方をベッドに戻してください。

お手入れ

⚠ 警告

■電源プラグを抜いて行なってください。

●誤操作による、はさまれを防止するため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてお手入れを行なってください。

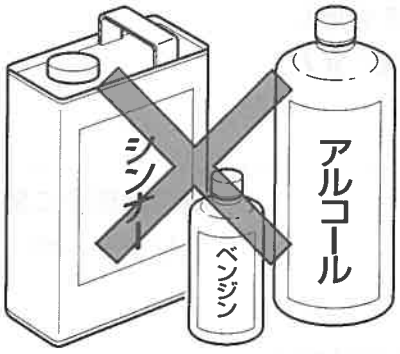
■水をかけないでください。

●ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電の恐れがあります。

■ベッド本体

●清拭する場合は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って使用し、乾いた布でふき取ってください。

※揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリン）などでは絶対に拭かないでください。



■ベッドサイドレール、介助バー

●上記ベッド本体のお手入れと同様に行なってください。

■オーバーテーブル

●上記ベッド本体のお手入れと同様に行なってください。

■マットレス

●使用状態や発汗の多少に応じて2週間～4週間に1回程度、ベッドから降ろし、風通しの良い日陰で干してください。マットレス内部の湿気を取り除くと快適にお使いいただけます。

16 故障かな？と思ったら

■故障でない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
それでも直らないときは、ただちにベッドの使用を中止して電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。

症状		チェック	処理
手元スイッチを押しても動かない	●手元スイッチのランプが消えている。	●コンセントに電気がきていますか？	●コンセントに他の電気器具を付けて確認してください。
		●電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	●手元スイッチのランプが点灯している。 スイッチを押したら点滅に変わった。	●連続使用しましたか？ アクチュエータが加熱した可能性があります。	●約20分放置して、アクチュエータが冷えるのを待ってください。 ●アクチュエータの過熱を防止する回路（サーマルプロテクター）が働いたためで故障ではありません。
角度または高さが出ない		●可動部分に障害物がありませんか？	●障害物を取り除いてから電源プラグを抜き、10秒後にもう一度プラグをコンセントに差し込んでください。上限または下限まで動かしてみてください。 ●可動部分付近には物を置かないでください。

17 長期保管と移動（移設）について

保　　管

⚠警告

●お子様のいたずら等による予期せぬ事故や不具合を未然に防止するため、ベッドの電源プラグは、必ずコンセントから抜いておいてください。

1.組み上がった状態でベッドを保管する場合

●高温、湿気、ほこりの多い場所を避けてください。
●「あたま」「あし」「たかさ」を手元スイッチ操作で最低位置まで下げてください。
●マットレスの上に物を載せたままにしないでください。マットレスが変形する恐れがあります。
●使用を再開する場合27ページの手順に従って、点検を行なってください。
●平らにおいてください。（横倒しにしたり、立てかけたりしないでください。）

2.分解して保管する場合

（ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。）

●37～44ページの分解の手順に従って行なってください。

移動（移設）

1.組み上がった状態でベッドを移動（移設）する場合

●背や腰を痛めないよう、少なくとも4人で運んでください。
●ベッドで療養している方、寝具、マットレス、オプション（ベッドサイドレール、介助バーなど）は降ろしてください。
●ボトムを持って移動しないでください。
●手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損、キズから守るため束ねてベッド本体に固定して運んでください。
●取扱説明書を紛失しないよう、ベッドといっしょに保管してください。

2.分解して移動（移設）する場合

（ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。）

●37～44ページの分解の手順に従って行なってください。

18 ベッドの分解方法

販売店にご依頼することをお勧めしますが、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

⚠ 警告（けいこく）　●背や腰を痛めないよう、必ず2人以上で分解してください。

1.オプション・寝具の取外し

❶ ベッドのオプション（オーバーテーブル、ベッドサイドレールなど）をベッドから取り外してください。

❷ 寝具をベッドから降ろしてください。

❸ マットレスをベッドから降ろしてください。

2.手元スイッチの操作

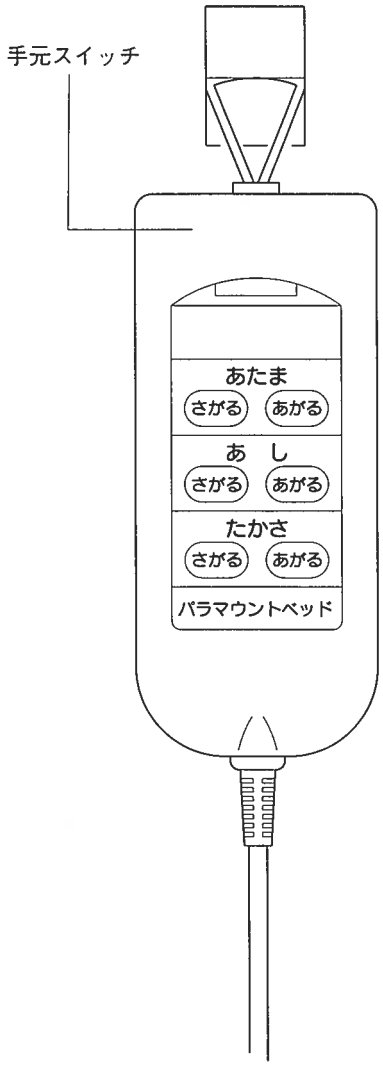
❶ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

❷ 「たかさ」「さがる」ボタンを押してベッドを一番低くしてください。

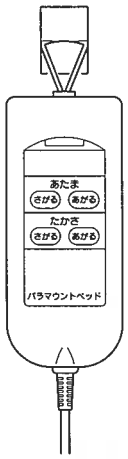
❸ 「あし」「さがる」ボタンを押して足ボトムセットを一番低くしてください。
（KQ-602,612,622は不要です）

❹ 背ボトムを取り外しやすいよう「あたま」「あがる」ボタンを押して背ボトムを一番高くしてください。

❺ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

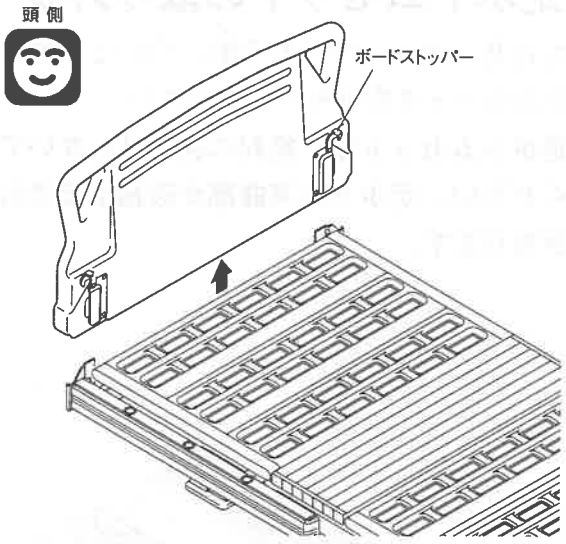


（KQ-603,613,623）



（KQ-602,612,622）

3.ヘッドボード・フットボードの取り外し

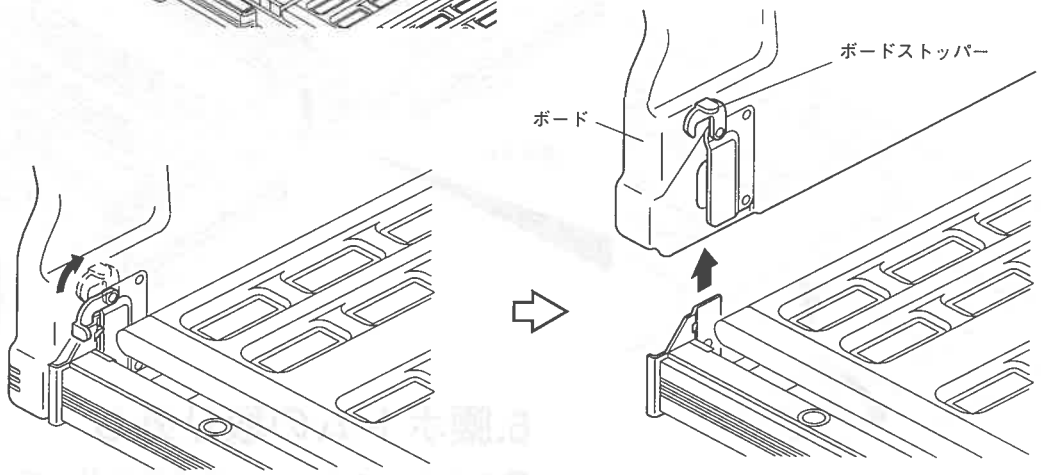


❶ヘッドボードの左右のボードストッパーを外してください。

❷ヘッドボードを真上にまっすぐ持ちあげ、取り外してください。

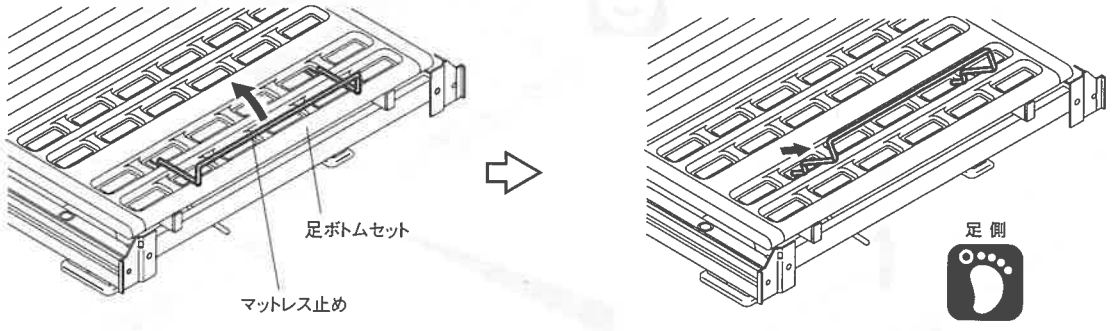
❸フットボード左右のボードストッパーを外してください。

❹フットボードを真上にまっすぐ持ちあげ、取り外してください。



4.マットレス止めの取り外し

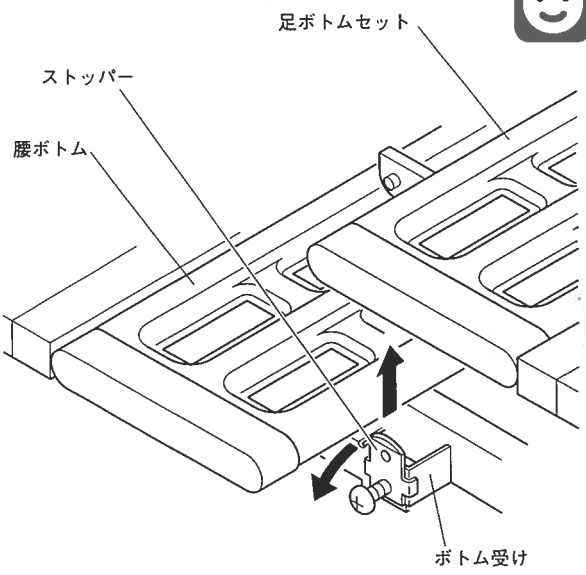
❶マットレス止めを足側から斜めに持ち上げて、抜いてください。

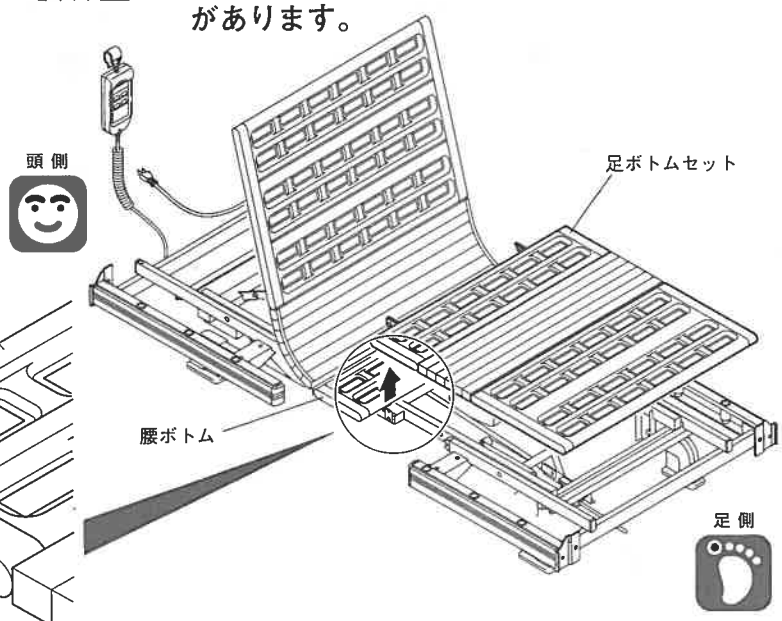


5.足ボトムセットの取り外し

❶左右共、ストッパーを手前に引いて、足ボトムセットを取り外してください。

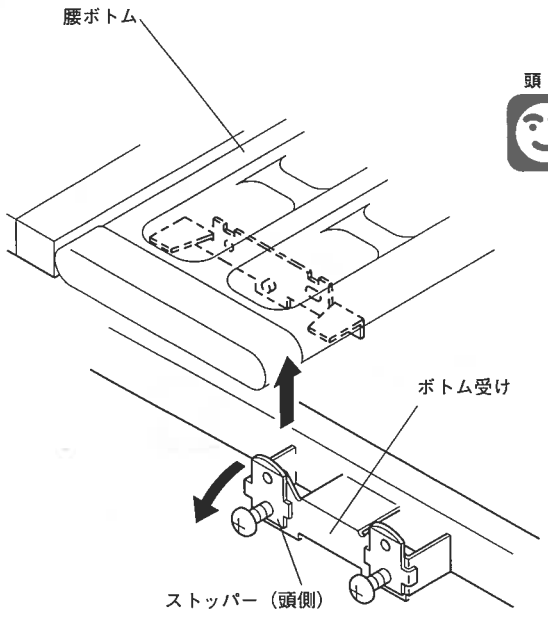
●**足ボトムセットは、絶対に逆折りしないでください。足ボトム湾曲部が破損する恐れがあります。**

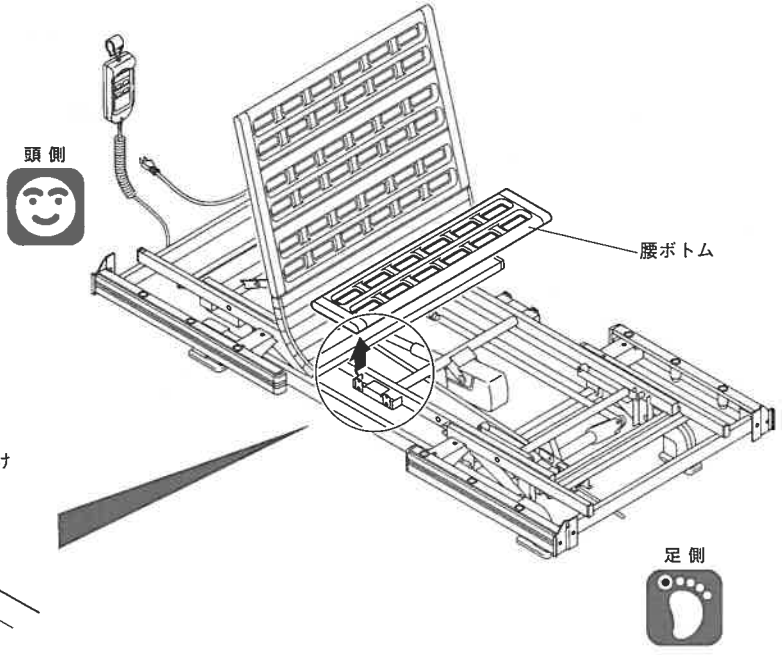




6.腰ボトムの取り外し

❶左右共、ストッパーを手前に引いて、腰ボトムを取り外してください。



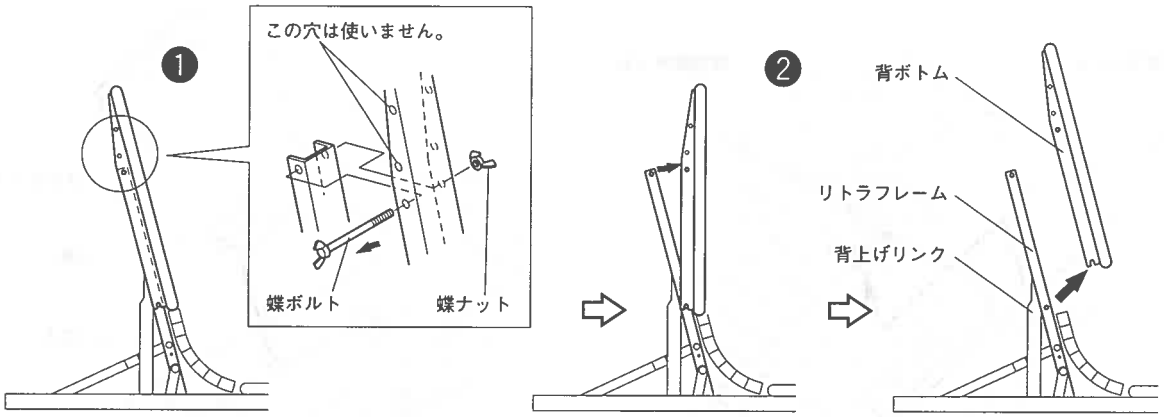


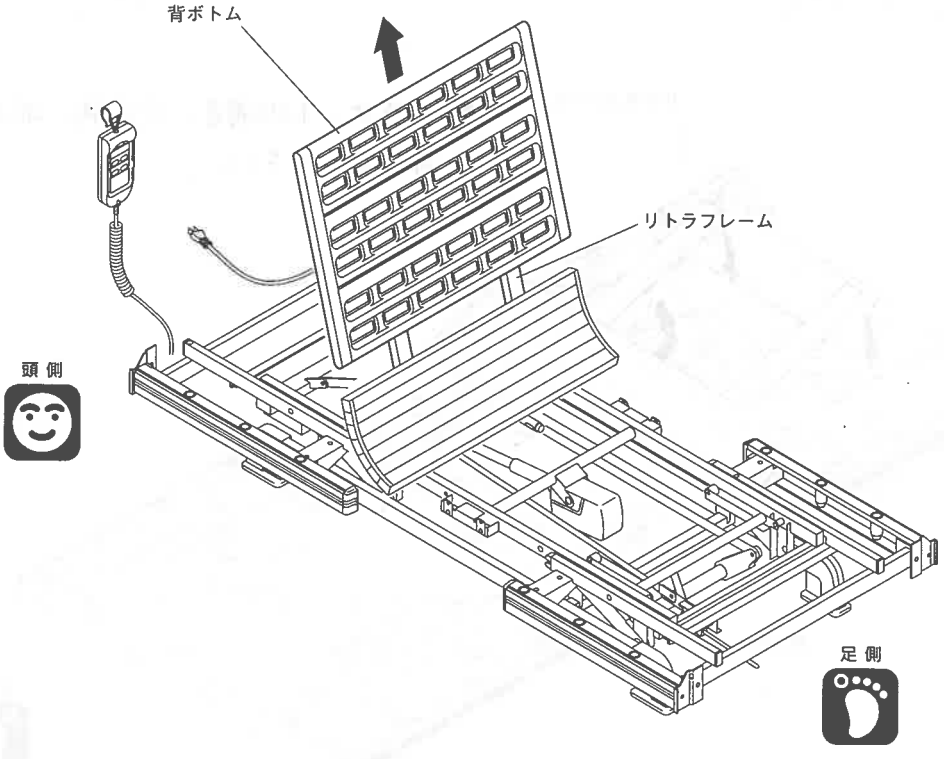
7.背ボトムの取り外し

❶背ボトムの裏の蝶ナットを取り外し、蝶ボルトを引いて取り外して下さい。

●取り外した蝶ボルト・蝶ナットは紛失しないように保管してください。

❷背ボトムをリトラフレームから持ち上げ、取り外してください。

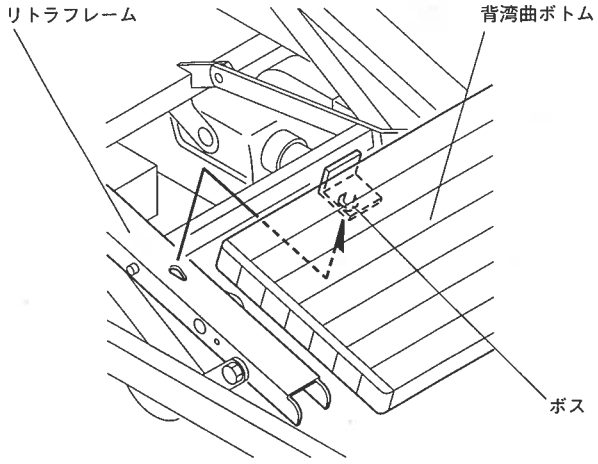


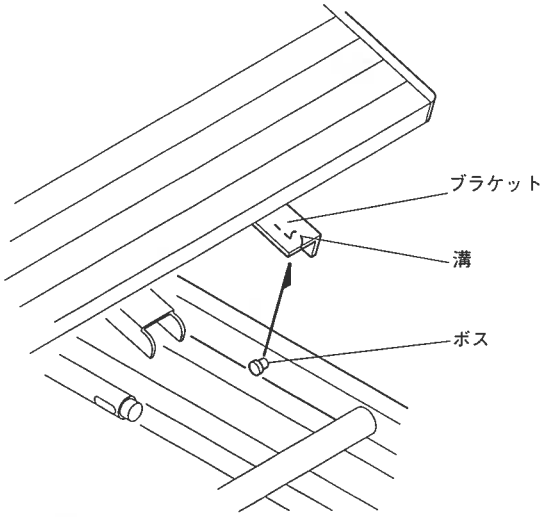


8.背湾曲ボトムの取り外し

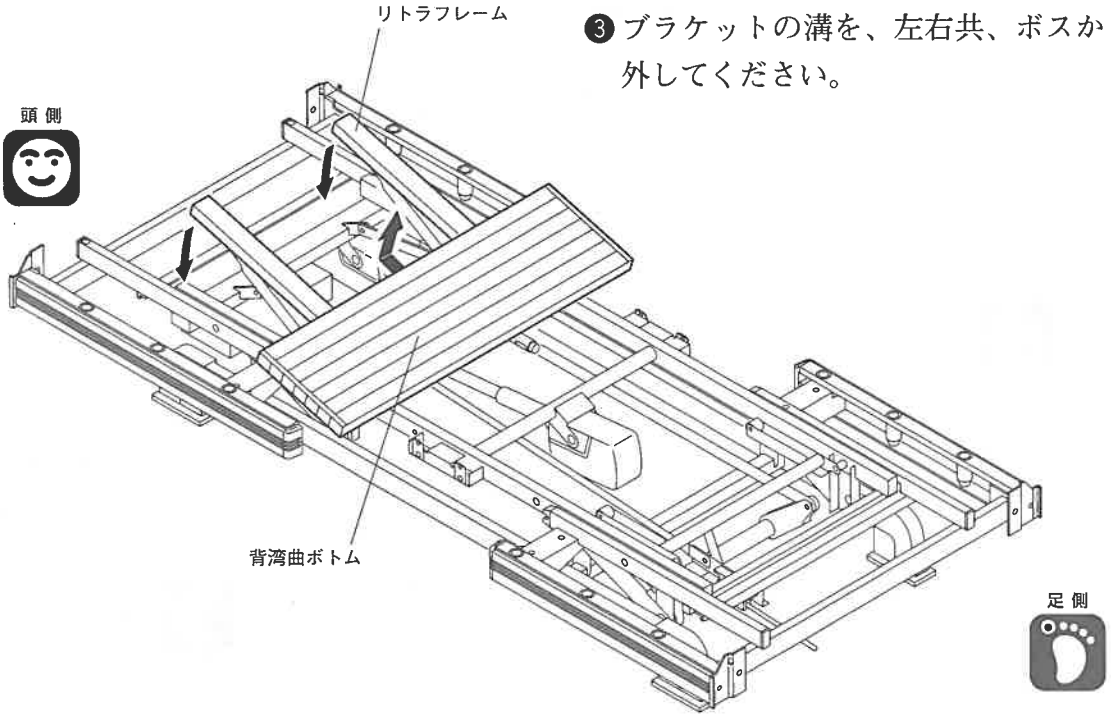
❶電源プラグをコンセントに差し込み、手元スイッチの「あたま」・「さがる」ボタンで背上げリンクを一番下まで下げてください。

❷背湾曲ボトムをベッドの頭側に引きながら、左右共、ボスをリトラフレームから取り外してください。





❸ブラケットの溝を、左右共、ボスから取り外してください。



❹電源プラグをコンセントから抜いてください。

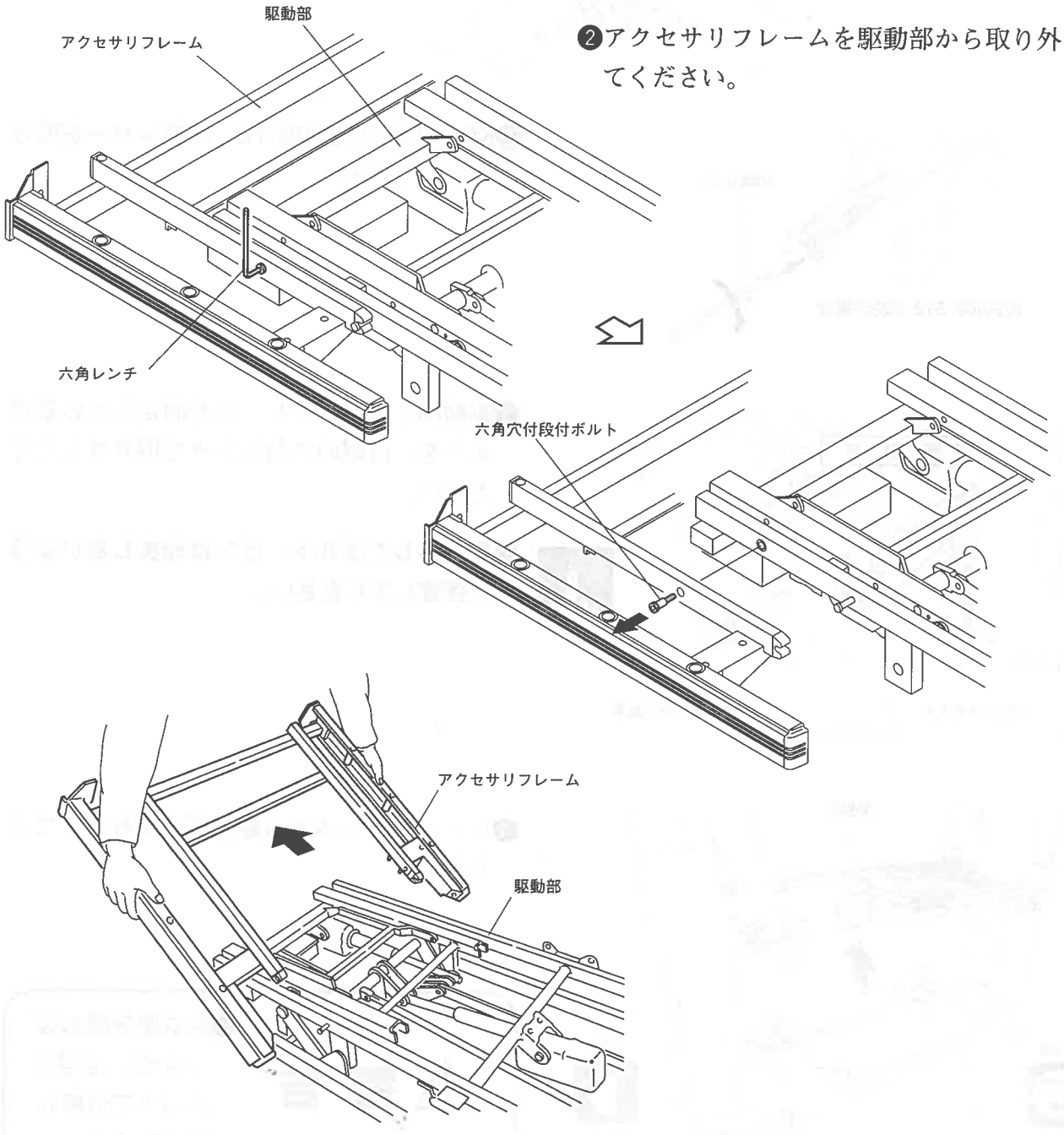
9.アクセサリフレームの取り外し

❶アクセサリフレームと中床を固定しているボルト（4個所）を、付属の六角レンチを用いて取り外してください。

注記

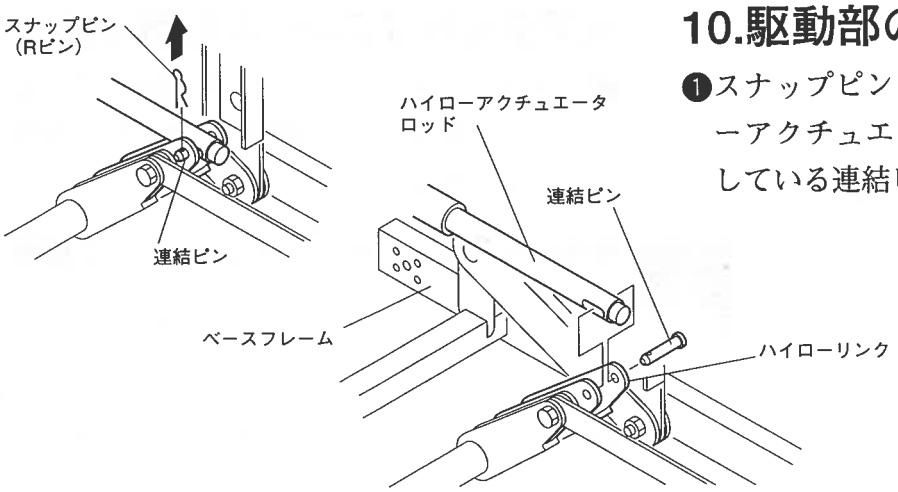
●取り外したボルトは紛失しないように保管してください。

❷アクセサリフレームを駆動部から取り外してください。

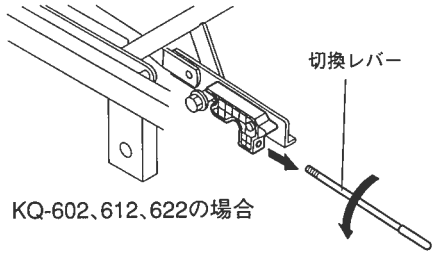


10.駆動部の取り外し

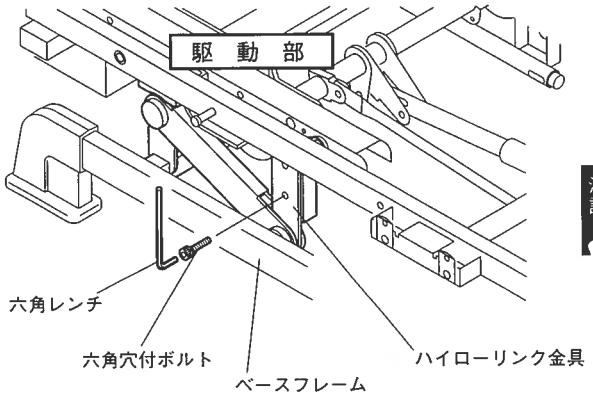
❶スナップピン（Rピン）を抜いて、ハイローアクチュエータとハイローリンクを連結している連結ピンを取り外してください。



❷KQ-602,612,622の場合は、切換レバーを取り外してください。

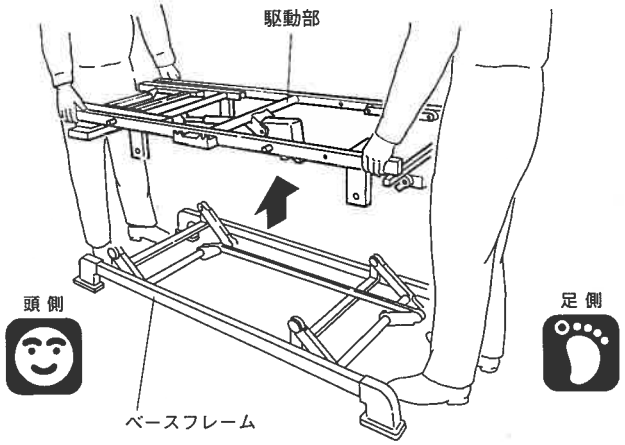


❸駆動部とベースフレームを固定しているボルトを、付属の六角レンチで取り外してください。



●取り外したボルト、ピンは紛失しないように保管してください。

❹ベースフレームから駆動部を取り外してください。



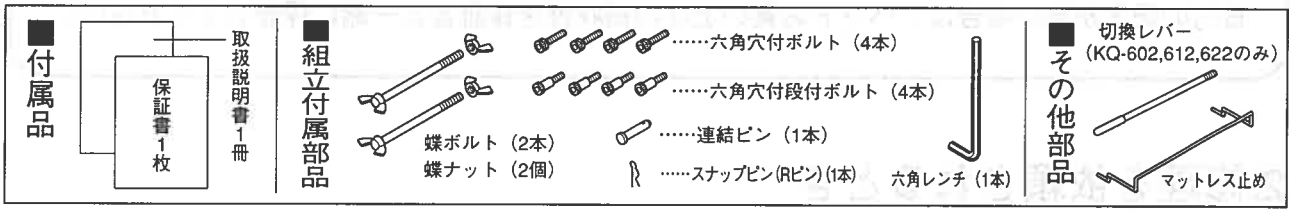
⚠警告

●背や腰を痛めないよう、必ず2人以上で分解してください。

11.付属部品と分解したユニットの保管

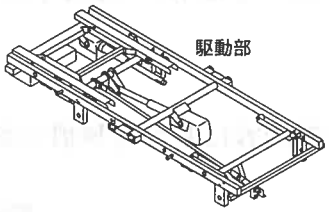
■付属品、組付部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および下記の組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて駆動部と一緒に保管してください。



■付属品、組付部品、その他部品の保管

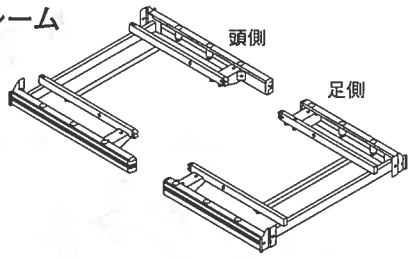
❶駆動部



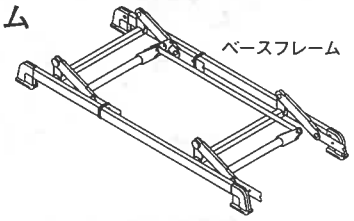
●手元スイッチ、電源コードを束ねて上記の付属部品と一緒に保管してください。

●梱包するときは、取扱説明書、付属品などが梱包されていることを見やすい所に明記しておくと後日、開梱するときに便利です。

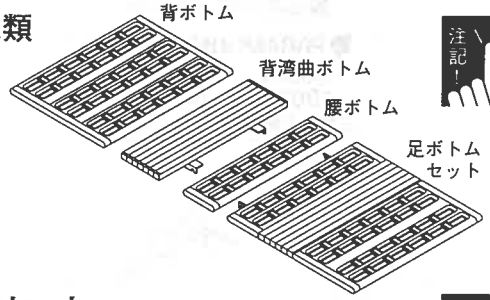
❷アクセサリフレーム



❸ベースフレーム

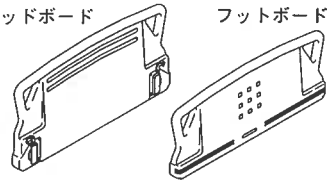


❹ボトム類



●背湾曲ボトム、足ボトムセットの湾曲部は逆に曲げないように取り扱ってください。

❺ボードセット



●ボードを重ねる時は、金具でボードが傷付かないようにあてものをしてください。

1.保証書

保証書は、必ず「販売店」や「お買い上げ日」などが記入されているか確かめてお受け取りください。記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

日付の記入が無い場合は、ベッドお買い上げの領収書を保証書と一緒に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

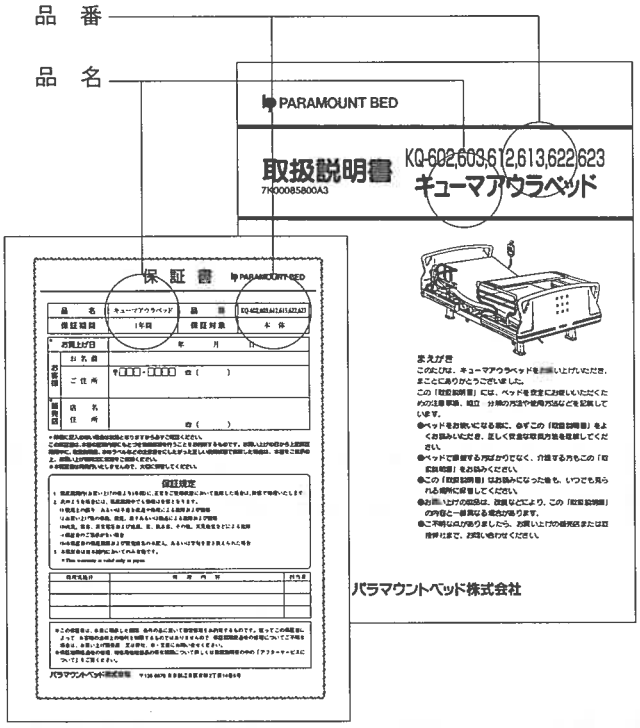
取扱説明書の16.故障かな？と思ったら(35ページ)を参照して調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

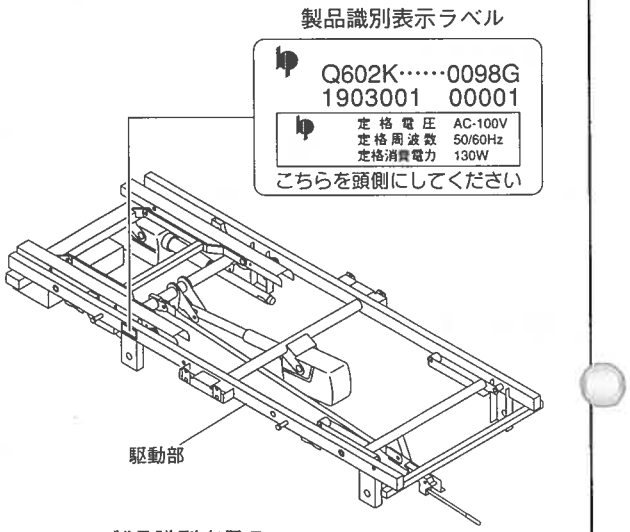
保証期間中は

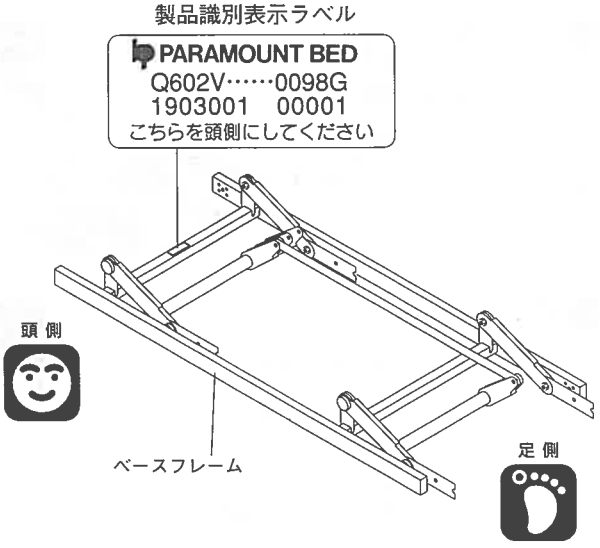
お買い上げの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。

連絡していただきたい項目

●品名、品番、製品識別表示ラベルの番号







●お買い上げ日

●故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

●お名前、ご住所、電話番号

保証期間がすぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理できる製品については、ご要望により有料で修理いたします。

3.部品の最低保有年数は

弊社では、ベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打切後6年としております。

4.アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社、本・支店にお問い合わせください。

パラマウントベッドサービスネットワーク

本　　社	〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(代)
		東京第一営業部直通　☎(03)3648-1171
		東京第二営業部直通　☎(03)3648-1112
札幌支店	〒060-0062 札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015 仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
横浜支店	〒194-0004 東京都町田市鶴間1715番地1	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒454-0853 名古屋市中川区玉船町3丁目1番2号	☎(052)661-3111(代)
大阪支店	〒550-0001 大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
広島支店	〒733-0011 広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
高松支店	〒761-8031 高松市郷東町223番1	☎(087)881-8800(代)
福岡支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)
中央分室	〒104-6591 東京都中央区明石町8番1号聖路加ガーデン2階	☎(03)3541-3377(代)

PARAMOUNT BED